

令和7年2月14日

大阪府高等学校美術・工芸教育研究会

令和6年度 第5回役員会

（集合型・ZOOMによるオンライン併用会議）

0. 会長挨拶

1. 案件

① 年度末総会について

2025年3月7日（金）開催を予定。

〈年度末総会 審議事項〉

① 第76回高校展実施要項(案)

②

③

〈令和7年度 役員選挙について〉

・理事長 → 副理事長（2名） → 会計部長 → 研究部長 → 高校展部長
→ 芸文祭部長 → 研修部長 → 事務局（3名連記）

○投票方法・・・

・紙でのみ行う。 or ・オンライン併用で行う。

2. 連絡・報告事項

各部より

1) 会計部

・会計部活動報告

2) 研究部

・令和6年度 研究部活動報告

3) 高校展部

・第75回高校展総括

4) 芸文祭部

・芸文祭部活動報告

・芸文祭コンクール展審査結果

・全総文内定者一覧

5) 研修部

・令和6年度第2回新人・全体研修（役員会のみ）

・令和6年度研修部活動報告

・令和6年度研修部会計報告

各ブロックより

A 活動報告

B 活動報告

C ・年度末総会后、次年度のブロック展会場の選定、副ブロック長の決定を行います。

・Cブロックになってからブロック長、副ブロック長を回していくのが難しくなってきました。

そう遠くないうちにブロック長不在。。なんてことにもなりそうです。研究会全体でそろそろこういった役割の在り方を考える時期ではないでしょうか。

D 活動報告

E 活動報告

F 令和6年度 活動報告

G 活動報告

H 活動報告

K 活動報告

事務局より

- ・大阪府高等学校芸術科研究会 合同新人研修兼全体研修会 報告
- ・公私連絡協議会 報告
- ・2025 年度 各ブロック分掌人数配置案
- ・2025 年度 研究会名簿および一斉送信メールアドレス調査について
- ・年度末・年度当初の動きについて
- ・2025 年度研究会事業計画（たたき台）

R8 大阪大会について

3. 連絡報告事項

1)

2) その他

【役員表】(敬称略)

会長 山崎 裕彦（港南造形校長）

理事長 内藤 さや（港南造形）

副理事長 山崎 功典（港南造形）
倉津 典宏（枚方なぎさ）

会計部長 古谷 明香（佐野工科） 副部長 相澤 真央（港南造形）

研究部長 池田 仁（港南造形） 副部長 増本 茜（港南造形）

高校展部長 芝崎 博敏（旭） 副部長 古屋 ひとみ（守口東）
副部長 ○○ ○○○（○○○）

芸文祭部長 宮崎 さや（千里青雲） 副部長 松田 剛志（池田）

研修部長 畑 みのり（園芸） 副部長 百合野 美沙子（桜和）

事務局長： 山口 真弓（柴島）

事務局： 渡邊 美和子（桜宮）・酒見 直樹（港南造形）・麻谷 英樹（西成）
田中 伶奈（港南造形）・物種 佑佳（美原）・松田 麻衣子（茨木工科）
岡本 直子（北摂つばさ）・国分 幸子（刀根山）

ブロック長

副ブロック長

A 上野 真也（箕面東） 国分 幸子（刀根山）

B 藤田 ちあき（大冠） 西村 美穂（春日丘） 大高 陽子（摂津）

C 結城 啓介（西成） 瀬島 由紀子（今宮）

D 飛峪 由紀（芦間） 山崎 優子（門真西）

E 渡邊 美和子（桜宮） 梅木 沙羅（みどり清朋）

F 岡垣 有香（松原） 塩野 彰子（東住吉総合）

G 村上 恵美璃（成美） 川北 博子（金岡）

H 山田 莊子（和泉総合） 石井 智恵子（泉大津）

K 酒見 直樹（港南造形） 高橋 和彦（港南造形）

〈顧問〉

仲谷 浩（河南/校長） 角 芳美（市立工芸/校長） 西田 悟（金岡/校長）

今西 良介（桜塚/准校長） 小畑 龍業（柴島/教頭） 山村 宏昌（福井/教頭）

瀧北 清香（長吉/府教育センター）

〈理事〉

丸山 勉（吹田東） 村田 和久（工芸）

◆大阪府高等学校芸術科研究会委員

事務局部会……………山崎（北摂つばさ）・倉津（枚方なぎさ）

芸術教育振興委員会…麻谷（西成）酒見（港南造形）・物種（美原）・松田（茨木工科）

カリキュラム委員会…内藤（港南造形）・山口（柴島）

第76回高校展（大阪府高等学校美術・工芸展）出品要項(案)2025.2.14役員会資料

大阪市立美術館 天王寺ギャラリー 第1/2/3/4室天王寺区茶臼山1-82 ;06-6771-4874

2025年 7月23日(水)～7月27日(日) 9:30～17:00(入館は終了30分前。最終日は15:00終了。)

- 【趣 旨】①高等学校美術・工芸教育の一環として行う。
②高校生が表現活動を通じ、独自性と創造性を追求する機会とする。
③一般、中学・高校生の鑑賞の資とする。
- 【出品規定】大阪府内の公立高等学校及び・支援学校の生徒作品で、原則として学校外で発表したことのない作品。
- 《出品部門》絵画、版画、彫刻・立体、デザイン、工芸の5部門とする。
- 《出品点数》各部門に一人1点ずつ出品できる。ただし工芸部門は木工・金工・染織・陶芸・その他の各1点ずつ5点まで、
デザイン部門は自由課題・立体課題・テーマ課題の各1点ずつ、計3点まで出品できる。
立体物の共同制作作品は審査の対象とし、翌年の全国高等学校総合文化祭への代表作品の審査対象とする。
- 【申し込み】所定の用紙に必要事項を記入し、5/30または6/6のブロック会議までに各ブロックの高校展部員に提出すること。
※ 支援学校は高校展支援部門担当者がとりまとめる。
- (注)絵画壁面の申し込み範囲 絵画壁面は1mから9m(高さの上限は基本3m)を基準とする。10m以上の申し込みを希望する学校は、

申込時(ブロック会議)に壁面追加申請書を提出する。(22mを上限とする。)
壁面が不足した場合は、7m以上で壁面m数の多い学校から削減する。又、7m以上の学校は壁面が折れる事を前提とする。
工芸壁面はm単位で申し込むこと。(高さの上限は3m)、壁面長の制限は設けない。

【出品料】出品料は出品校教員会議(7月4日(金))で、所定の用紙に金額を記入のうえ、納入すること。

絵画壁面 1mにつき	3000円	デザイン(自由課題) B1縦のみ	1000円
版画B1	1200円	デザイン(テーマ課題) B1 縦のみ	1000円
版画B2	600円	彫立・立デ・工芸の標準作品(立体)	700円
版画大作 B1パネル2枚大まで	2000円	大作(彫立・立デ・工芸)投影床面積1㎡につき	1000円
工芸壁面 1mにつき	2000円	デザイン・立体・工芸作品台(大)1台	1000円

※共同搬入出参加校は、共同搬入出参加費用として別途一校につき6,000円を納入すること。 ※ 絵画1点出品については別途料金規定を定める(別紙)

【展覧会までの手続き】

生徒説明会	4月～5月		各ブロック担当者	各ブロックでオンラインで実施(日程は各ブロックで決定)
申込各ブロック会議	5/30or6/6(金)	14:30～17:00	各担当校	各ブロックの高校展部員に申込書を提出
出品目録の提出	6/20(金)	締 切	各ブロック担当者	ブロック毎に決められた担当者へメールで提出
①出品校教員説明会 ②出品校教員会議	7/4(金)	14:00～15:00 15:00～17:00	◆場所未定	①初参加校の顧問教員の説明会＋基本的なQA ②出品校の顧問教員対象。必ず出席。欠席は棄権となる。 出品料納入、変更手続き、目録確認、各係打合、諸連絡。
作品搬入	7/22(火)	12:00～16:00	大阪市立美術館	搬入作業、目録提出、金具・止めゴム等貸与を受ける。
作品搬出	7/28(月)	9:00～12:00	大阪市立美術館	搬出作業、金具・止めゴム等を返却。

【表彰式】表彰式は、7月27日(日)13時より会場に於いて行う。優秀賞受賞者は必ず出席すること。(集合は12時30分)

【その他】 今展覧会出品作品より、来年度の全国高等学校総合文化祭「美術・工芸部門」に参加する生徒を選定する。

《出品に関する注意事項》

絵 画	○30号(作品の長辺が 91cm以上)から120号(作品の長辺が194cm以下) 額装すること。 ○平面作品は、壁面から30cm以内であること。
版 画	○B1又はB2パネルを基準とする。パネルでない場合は額装する。
彫刻・立体	○彫刻・立体作品の標準は、1点展示とし、自校で用意した60cm平方以内の台の上に置ける大きさであること。
デザイン	○平面作品はB1パネルのみ。○壁面から10cm以内であること。○テーマ課題と自由課題を設ける。 ○平面作品はテーマ課題・自由課題とも縦位置とする。○今年度テーマは「明るい未来社会」 ○立体デザイン作品は、自校で用意した60cm平方以内の台の上に置ける大きさであること。
工 芸	○工芸の立体作品の標準は1点展示とし、自校で用意した60cm平方以内の台の上に置ける大きさであること。○壁面展示の作品は、割当m数の範囲内で、高さ4m以内に展示可能なものとする。
作品台(大)	○デザイン・彫刻立体・工芸のテーブルに展示する作品は、自校で用意した90cm平方以内の台の上に置くこと。 ○集合作品は、1部門につき1テーブルを用意し、同じ台に2部門にまたがる作品を置かないこと。
大 作	○彫刻・立体は投影床面積が60cm平方を超えるもの。工芸・立デは、底面の一辺が60cmを超えるもの。 ただし、投影床面積最大4㎡以内とする。版画は、B1パネルを超えるもの。ただし、B1パネル2枚大までとする。
そ の 他	○壁面と床面の両方を使用する作品は、自校の絵画壁面に含めて申し込み、床面の使用料(出品料)を加えて納入する。(備考欄に内容を記入) ○彫・立・工・立デとも安全性・他の作品の鑑賞条件から、高さは台座(作品台)を含めて2m程度とする。自立・安定させること。 ○美術館入口から安全に搬入できるサイズや形状であること。○電源を使用する作品は目録提出時に申請すること。 ○投影床面積2㎡を越えるものについては、申込時に高校展部の割付係に相談すること。 ○上記の規定概念に入らない作品については、必ず作品の具体的な形態や内容を文書にて高校展部まで提出すること。 但し、支援学校の生徒作品については、上記作品の大きさに関する規定を適用しない。 ○高校展の趣旨を踏まえ、公序良俗に反する表現は避けること。

★作品は、高校展および選抜展主催者の制作する図録(特集号)、ポスター・案内状(次年度用)、ホームページ等は無償で使用できるものとする。

【主 催】大阪府高等学校美術・工芸教育研究会 【後 援】 大阪市・大阪府、大阪市・大阪府教育委員会、他
【この件に関するお問い合わせ】大阪府高等学校美術・工芸教育研究会 高校展部事務局 大阪府立 旭高等学校 芸術科(美術):芝崎博敏

令和7年3月7日

令和6年度大阪府高等学校美術・工芸教育研究会 会計部 活動報告(案)

1) 役割分担

○部長／古谷 明香（佐野工科）・・・全体会計（一般・高校展）

○副部長／（港南造形）・・・全体会計補佐他

○各ブロック会計担当

A 安岡真由美(東淀川) B 松浦響子（槻の木）・藤田ちあき（大冠） C 櫛本有里(大正白稜)

D 山本裕子（枚方津田） E 渡邊美和子（桜宮） F 北池哲（長野）

G 白垣京子（堺西）H 古谷明香（佐野工科）足田文子（岸和田産業）

K 梶原彩乃・相澤真央（港南造形）

○会計監査／酒見直樹（港南造形）・物種佑香（美原）

2) 活動報告

5月	・24（金）第1回会計部会 ・24（金）R5年度「会計報告」提示 R6年度「予算案」「活動計画案」「研究会費納入案内」提示 ・会計報告後、私学会計にも関連会計の収支報告・予算案を送付
6月～10月	・8月30日（金）第2回会計部会 高校展関連会計作業 ・各ブロック会議・高校展関連会議にて研究会費納入開始・高校展出品料徴収 ・8月30日までブロック会計部員が研究会費徴収。 以降10月末まで個人振り込み。
12月	・研究会費納入者集約及びブロック会議等にて納入者の確認
1月～3月	・私学分担金確認 ・一般会計集約 ・3月総会後、会計監査 ・一般会計・高校展会計報告書作成

3) 会費納入

1月最終確認時点で121名（363,000円）納入

→前年より1名増加

4) その他

- ・次年度高校展集合開催のため、第2回の会計部会は教員説明会時に行う。
- ・会計部員による研究会費の徴収・納入は高校展教員説明会を〆切として以降は振込で対応。

1. 研究部員（敬称略） 計 18 名

部長：池田 仁（港南造形） 副部長：増本 茜（港南造形）

- A 井田 未央（箕面）
B 渡邊 敏朗（茨木西）、滝 明香（山田）、松田 麻衣子（茨木工科）
C 青木 岳（港）、深町 和代（咲くやこの花）
D 田村 夏野（北かわち阜が丘）、畑林 萌（野崎）
E 藤岡 美菜（成城）、田中 康裕（汎愛）
F 塩野 彰子（東住吉総合）
G 上野山 愛鐘（だいせん聴覚高等支援）、村上 恵美璃（成美）
H 青野 可苗（伯太）、竹本 浩紀（日根野）
K 池田 仁、場野 東、増本 茜（港南造形）

2. 年間活動計画

日時	内容	場所
5月2日（木）	第1回研究部会（今年度の予定等）	港南造形高校
ブロックによる	高校展の記録	各ブロックで（HP 確認）
8月6（火） 7日（水）	近畿研修 京都 京都国立近代美術館 京芸でテキスタイル研修	
8月20日（火）	第61回全国高等学校美術工芸研究大会（東京大会）	Web&現地（星陵会館）
11月22日	思考研究会（研修部と） 研究部会議	港南造形高等学校

活動内容

- ① 研究収録・・・金銭面や情報共有の迅速化の観点から、WEB（美工研 HP）に移行
内容：全国大会での研究発表、研修や高校展の様子、ブロックの活動など

- ② 思考研究会・・・研修部と合同開催

内容：版画・デザイン・陶芸・作品制作の指導法や機材について など

●作業関連の動画など教材の共有についても行い、参加者の反応も良かった。

今後も、アンケート等によるほしい教材・指導関連を重点的に行い、思考研究会に反映する。

また、機会が多い方がよいとの声もあるので年2回程度の開催を検討する。

3. 教材収集

授業課題の収集（年度当初の繁忙期を乗り切る！とりあえずの単発課題！etc…）

各ブロックで募集してデジタルデータとして集約するなど。クラスルームを活用予定。

●今年度ご協力いただきありがとうございました。

クラスルームでの収集に関してご意見等伺い、グーグルドライブによるデータの保管と整理をしていくことにしました。集めたデータに関しては、HP等で改めて周知いたしますのでご活用ください。

令和6年度 高校展部 活動報告

1. 高校展部員

【部長】	芝崎 博敏（旭）
【副部長】	古屋 ひとみ（守口東） ○○ ○○（○○）,
Aブロック	○国分 幸子（刀根山）、高木 由貴（渋谷）
Bブロック	○西村 美穂（春日丘）、山口 真弓（柴島）、近藤 朋美（北摂つばさ）、丸山 勉（吹田東） 鴨井 陽香（三島）、迎田 祐輔（島本）、関 友道（淀川清流）
Cブロック	○麻谷 英樹（西成）、海老澤 菜美（西成）、瀬島 由紀子（今宮）、森治 健太（工芸） 桑村 勇輝（大阪わかば（多Ⅰ・Ⅱ））
Dブロック	○山崎 優子（門真西）、古屋 ひとみ（守口東）、森 明美（北かわち臯が丘） 山本 有希子（寝屋川（全日））、菅谷 英正（牧野）、古田 瑠名（西寝屋川）
Eブロック	○澁谷 花菜子（布施北）、芝崎 博敏（旭）、前羽 りお（枚岡樟風） 濱口 佳世（枚岡樟風/休職中）、小野 修（東大阪市立日新/休職中）
Fブロック	○物種 佑佳（美原）、武内 愛弥（長吉）、中野 真希（松原）、末長 信（金剛）
Gブロック	○川北 博子（金岡）、和田 嵩史（鳳）、郡山 鷹子（東百舌鳥）
Hブロック	○中嶋 彩（信太）、野村 友樹（りんくう翔南）、石井 智恵子（泉大津）
Kブロック	○庄司 ゆうこ、田中 伶奈、酒井 遥、水野 善美、曾根 るり瀬、鈴木 啓以知（港南造形）

2. 今年度活動計画

月	日	曜	会議名	会議予定場所	要件・内容
4	26	金	① 部会	メール会議	計画・要項確認、役割分担案、ポスター案他
5	24	金	総会	あべのハルカス	要項説明、高校展部会活動計画案
6	7or14	金	ブロック会議	各ブロック別	申込集約、ブロック内役割、申込状況の確認、展示計画
6	28	金	②部会	旭高校	各ブロックの状況確認、ブロックへの配布物(ポスター等)持ち帰り
7	5or12	金	ブロック会議	各ブロック別	出品料納入、ポスター等配布、申込(修正)提出
			ブロック会議	各ブロック別	展示計画、割付作業
			高校展搬入	各ブロック別	高校展搬入
			高校展	各ブロック別	第 75 回高校展
			高校展搬出	各ブロック別	高校展搬出、反省会
8	22	金	③ 部会	大阪府教育センター	第 75 回展反省・第 76 回展要項作成
11	15	金	④ 部会	天王寺高校	第 75 回展反省、第 76 回展要項作成
1	24	金	⑤ 部会	枚方市総合文化芸術センター	第 75 回展反省、第 76 回展要項作成

3. 75 回高校展 分散開催会場・会期等

ブロック	会場	会期	搬入	搬出
A	豊中市文化芸術センター展示室	8月7日(水)～11日(日)	8月6日(火)	8月11日(日)
B	茨木市立上中条青少年センター	8月1日(木)～4日(日)	7月31日(水)	8月5日(月)
C	江之子島文化芸術創造センター	8月6日(火)～11日(日)	8月4日(日)	8月11日(日)
D	枚方市総合文化芸術センター	7月31日(水)～8月5日(月)	7月30日(火)	8月5日(月)
E	八尾市文化会館プリズムホール	7月31日(水)～8月4日(日)	7月31日(水)	8月4日(日)
F	大阪芸術大学附属 大阪美術専門学校	7月28日(日)～8月2日(金)	7月27日(土)	8月2日(金)
G	堺市立文化館	7月31日(水)～8月4日(日)	7月30日(火)	8月4日(日)
H	熊取交流センター煉瓦館	8月3日(土)～8日(木)	8月2日(金)	8月9日(金)
K	大阪府立港南造形高等学校	7月30日(火)～8月4日(日)	7月24日-26日	8月5日(月)

4. 各会場来場者数

A	1457
B	781
C	1106
D	1270
E	505
F	603
G	855
H	726
K	1436
合計	8739

5. 第 76 回高校展

2025 年 7 月 23 日 (水) ～7 月 27 日 (日)

大阪市立美術館 天王寺ギャラリー 第 1/2/3/4 室

● 絵画部門 30 号から 120 号

A ブロック 反省会

2024.08.08

生徒説明会・教員会議

生徒説明会は今年度開催せず。来年度は日程的に厳しいものがあるが説明会は開催すべきでは？
しかし公欠にしてでもやるべきなのか。強制参加をやめてほしいとの声もあるが、やるとなったら全校出席がマストなのでは？
ZOOM でもいいが、出品料を集めることを考えると現実的ではないか

会場

去年同様、非常によかった

会期

- ・時期が遅いと学校休業中と重なるが早いとき描き込みが甘くなるだろう。
- ・夏休みにやる意義を考えるべき。ガッツと集中してできるときであり、生徒たちが成長できる時期。

庶務

展示計画

去年同様問題なし

搬入出（共同搬入出等）

搬入

今年は集荷と展示を同日に行ったためスムーズだった。来年は早めにトラックの予約をとらないと、吹奏楽の大会と重なるため予約できなくなるかも。すぐに予約を行う予定。2 台予約してよいのか？来年の予算的にどうなのか。

搬出

他のイベントと重なったときが大変

会場当番

- ・レポート各校独自で作っているため当番で把握できない。
- ・「書いてからハンコを押す」を徹底して指導してほしい。内容を書かずにレポートを持ってくる人が多い。

審査

（規定違反）
特になし

各部門

（絵画）

（工芸）

これは工芸だ、これが彫デだ、立体だと教員や生徒が明確に理解すべき。

（版画）

やる学校がない

（デザイン）

- ・面と面を向けると透明パネルが熱でくっつく。間に紙や段ボールを挟む必要がある。全体への注意喚起が必要。
- ・工芸と、デザインや美術はちがうのだと、工芸とは何なのかを理解させる必要がある。

(彫刻・立体)

支援学校

出品なし

要項に関して

出品料・運営用途に関して

その他

2024 年度 第 75 回高校展 **B ブロック** 反省

西村美穂(春日丘高校)
2024.8.9

・ 来場者数(人) 合計 781 人 (2023 年度 985 人)

	8/1(木)	8/2(金)	8/3(土)	8/4(日)
AM	57	65	103	139
PM	89	97	97	134
備考	審査			表彰式

・ 出品数(点) 合計 191 点 (2023 年度 176 点)

絵画	版画	デザイン 自由	デザイン 立体	彫刻 立体	工芸
112	1	56	1	11	11

生徒説明会・教員会議 7 月 12 日(金)柴島高校

- ・ アクセスが良く参加しやすかった。
- ・ 成績関係で集まりにくい日なのかもしれませんね。
- ・ 大幅に遅刻してすみません。成績提出の締め切り日と重なるトラブルがあると厳しい。
- ・ 他の高校展部の方がしっかり動いてくださっているのが安心でした。
- ・ 駅近会場で良かったと思う。

- ・ 校内の成績関係の会議等と日程が被りやすいので、1 週早い方が審査中で学校を出やすいかもしれません。しかし、1 週早くなると高校展教員会議の準備が大変な気もしたり・・・ 皆さんの都合のいい日を設定するのは難しいので、結局どこかで誰かが無理をしないと集まるのは難しいのかなと思います。
- ・ 美術以外の教科の（美術部顧問の）先生方は時間通りに到着しており、美術の先生方が五月雨式に遅刻していたので、なかなか会議が始まらなかった。
- ・ すみません、欠席しました。
- ・ 出張で参加できていません。
- ・ 特に問題なし(2)

会場 茨木市立上中条青少年センター

- ・ 特に今年は開場時刻の厳格化や問合せ電話に関する苦情などセンター職員さんの対応が例年になく細かく厳しかった。審査時は取れるならやはり会議室が望ましいですね。
- ・ 駅から少し離れていて、暑さが厳しかったです。壁が低いのも、作品は観やすいですが、ツメツメで窮屈に感じました。
- ・ 駅から遠いので、夏場は大変だった。
- ・ 事務の方によって開場できる時間が異なるので注意が必要だと感じました。土曜日会場当番の時は、あらかじめ鍵も開いており、8 時 55 分より前に受付をすることができました。
- ・ 会場設営はやっぱりたいへん。
- ・ 駅から遠いけど、無料である魅力は強い
- ・ よかったです
- ・ 駅からは歩きますが、壁が可動式で設置できて、良い会場だと思います。
- ・ ブロック展でも使っている会場なので、勝手を知っていて使いやすかったです。
- ・ 交通の便は良くないが、広さ・値段ともに良い

- ・ 仕方のないことですが、少し暗いように感じました。駅近できれいなところがあればと思いますが、どこも高いですね……。
- ・ 特に問題なし(2)

会期 8月1日(木)～4日(日)

- ・ 4日間という短い期間だったので、行けなかった生徒(出品者のお友達)もいたよう。
- ・ 会期が早まったことの影響はさほど感じませんでした。
- ・ 今年度は特に問題なかったが、来年度はより早い会期になるので、特に立体や工芸部門は早めに制作をスタートしないと間に合わないと思いました。
- ・ 丁度良かったと思います。 期間・日程良かった など(8)
- ・ 生徒が集中して作品完成に向かう時間と夏季休暇を楽しむ時間のバランスが良い。
- ・ 例年より少し早くて、生徒が作品できるのか心配でしたが、会期が早い分、例年より暑さが少しマシな搬入出だったように感じます。
- ・ ちょっと早いかと思ったけど、来年はもっと早いので、まあいいか、と。
- ・ 特に問題なし

庶務 運営全般について

- ・ 高校展部中心に円滑な運営だったと思います。ありがとうございました。
- ・ 分散開催3年目で、高校展部員中心に何とか運営方法が見えてきた感じがしました。今年で終わりですが、1、2年目に運営を担って頂いた先生方に感謝です。
- ・ 高校展部員とブロック長の先生、まとめ役の西村先生、本当にお疲れ様でした。素晴らしい仕切りで、全てがとてもスムーズでした。生徒たちも良い笑顔でした。
- ・ 全てしていただきありがとうございます。
- ・ 作品審査について、全員で事前に基準など共有できたところが良かったです。
- ・ 大きな問題はないが、シールなど物の管理はブロック長などが、管理するなどして、直前に混乱のないようにした方が良かった。
- ・ 高校展部の先生方ありがとうございました。

- ・ おおむね良好

展示計画

- ・ 絵画・デザインの間違いによる展示場所替えと立体配置の微調整以外は、問題なかったと思う。
- ・ 絵画が多い中、通路の幅も確保されていて素晴らしいと思いました。北摂つばささんの有孔ボードの下段が縦構図のみの制約があり、展示にはご苦労されたことと思います。
- ・ 丸山先生、山口先生、ありがとうございました。
- ・ 山口先生に大感謝。頼りっきりでした。
- ・ 計画図など見やすくてありがたいです。
- ・ 壁面全体を奥側(高槻北高校壁面側)に寄せて、トラック搬入口側の通路(柴島高校壁面裏側)を1メートルほど広くスペースを空けたのが良かった。
- ・ 大物(トラック搬入口に鎮座していて邪魔だった椅子を積み込んだカートの一時的避難場所。大型扇風機置き場)の荷物を置けたりと便利だった。
- ・ 作品点数が増えたにも関わらず、スムーズだったと感じます。展示計画ありがとうございました。
- ・ 特になしです、全てしていただきありがとうございました。
- ・ 特に問題なし

搬入出(共同搬入出等)

- ・ トラックがなかなか来なかった。道が分かりにくかったようなので、次回はもう少し広域の地図を添付しようと思います。
- ・ 最初に壁の四隅にテープの目印があったのはすごく分かりやすく良かった。
- ・ トラック往路ではBコースがいきなり20分以上早い発着をしたかと思えば途中から行先を間違って最終的には大遅刻となり、Aコースでは三島高校に

たどり着けずグルグル回るといふ、あまり例のない間違ひがありました。詳しい地図を付けていても迷ったという事なので、こちらに出来ることはなんなのか？最終目的地が美術館であっても同様の間違ひは起こり得るので対策の必要ありだと思います。

- ・ 借り物のボードが来るタイミングがむづかしいですね。
- ・ 今年は台風に当たらず良かったです。北摂つばさ便ルートも名案でした。中原先生ありがとうございました。
- ・ 本校単独トラックにさせていただき、非常にスムーズにできました。ありがとうございます。
- ・ 課題は2点
①運送会社側が作成したルートと住所のリストのミス(北千里の住所の記載が、吹田東の住所になっていた)。天王寺開催だと、けっこうなミスになっていた可能性がある。
②6月の荷物量調査と実際の荷物量の差が、トラックの差配に影響しており、トラックに余裕がある状態となっている。6月から搬入までの間に一度(例えば出品料納入日)、確認してもよいかも。意味ないのか？
- ・ スムーズでした。ありがとうございました。
- ・ 壁面組立の工具を増やしたのは大正解で、非常にスムーズだった。四隅の基準を先に決めて一気に進める方法は、指示待ちの生徒を減らして全員で一気に四方から作業でき、最後の調整も要らず合理的。今後も続けてほしい。
- ・ 今年は搬出が例年以上に早く終われて良かったです。
- ・ トラックが北つばだけで荷物を運ぶので、2便になってしまうのが、効率悪く感じてしまいました。実際は1便と2便になった場合と比較してどうだったのか気になります。できたら1便で済ませてもらえる方がよいかなって思いました。
- ・ シートを敷いた後、手間ですがメジャーで測ってから四隅に印をつけておくと、後からスムーズに壁を立てられるかと思ひます
- ・ 共同搬入初めて利用しましたが、やはりとても便利よかったです。積極的に利用していきたいと思ひます。

- ・ 特にないですが、ありがとうございます
- ・ 特に問題なし(2)

会場当番

- ・ 申し送り事項を書くようなノートがあると良かったかなと思ひます。
- ・ 日曜午前を手厚くして頂き、賞状係はとても助かりました。
- ・ 審査日に当たる初日に、美術以外の教員が入ることで、審査もしやすかったのでは。
- ・ 振休の観点から4時間とするのは妥当。土曜は苦しい。特に土曜午後。
- ・ 受付は2人でも回るので、ブロック長など、一年通して負担のある方は外せるなら外してもよい気がしました。
- ・ 午前午後それぞれ1人、もしくは2人で充分かと思ひます。
- ・ 出張伺いを管理職に提出しなければならないので、もう少し早く出してもらえると助かります。今回は伺いが立てられず、交通費等が実費になってしまったので・・・
- ・ 特に問題なし(2)

審査

- ・ 審査員用の目録や、過去の審査結果データ、審査ルールの提示など、事前準備が整っており、とても円滑に進められたと思う。
- ・ 会議室を二つ借るのがベスト。
- ・ 審査全般は妥当
- ・ 進行がスムーズだったかと思ひます。もう少し優秀賞の有無については意見を言い合いながらできたので良かったです。
- ・ 進行も議論も、全てがスムーズで良かった。
- ・ 分野が違うから比較すべきではないかもしれませんが、確信持てるほど強くはないですが、絵画とデザインの奨励賞に対して少し厳しさの差がある

ように個人的には感じました…。デザインの奨励数をもう少し増やすか絵画を減らす？

- ・ 作品審査について、全員で事前に基準など共有できたところが良かったです。
- ・ 審査中に「立体は優秀賞に値する作品はない」っとおっしゃった先生がいましたが、審査が終わっていない段階で、他の審査の方を誘導するような発言はよくないと思いました。
- ・ 票数で賞が決まっていたけど、賞なしが奨励賞かの狭間の票は、見直しを行った方がよかったように感じました。
- ・ 総動員も今年までかと。
- ・ できれば、一校に一つは奨励賞をいただけると励みになる。

規定違反等

- ・ 著作権侵害や公序良俗に反するなど、撤去しなければならない程の作品はなかった。
→デザイン部門で著作権侵害 1 点あったのこと。(展示は続けた)
- ・ 絵画、彫刻立体では規定違反はありませんでした。審査も滞りなく進みました。
- ・ 大きな規定違反がなく良かったです。商標権については今後更に生徒に周知していく必要があると感じました。
- ・ 今回の規定違反(テレキャス)は、研究会全体として検討すべき課題とさせていただきます。
- ・ 特になし

要項に関して

- ・ 様式が統一されているのでなんとも言い難いです。
- ・ 妥当
- ・ 慣れてくると「例年通り」と、あまり読み込まない。「去年からの変更点」を強調して頂けたらありがたいです。横着ですみません。

- ・ レポート用紙への会期時間追記と要項の搬出の会場入り時間の追記。確か昨年 9 時までカギ開けてもらえなかったような…
- ・ 特に問題なし(2)

出品料・運営用途に関して

- ・ B ブロックは無料の辺鄙な会場なので、港南造形程じゃなくても若干でも安くなれば良いのにな、とはこの 3 年間ずっと思っていました。
- ・ 出品料は高い。この 3 年間、事務から支出ストップがかからないかどうかヒヤヒヤしていました。
- ・ 運営用途は妥当。
- ・ 全体の運営費の会計報告が欲しい。かなり黒字になっている印象。
- ・ 立地の不便さ(搬入出や来場の負担)をのんで安いところを使用している努力が他ブロックへの援助に回るシステムを、全体で開催するものだから、という理屈で通すなら、せめて、小規模ブロックは見る作品数が多くなるように複数のブロックを見に行く事をもう少し強めに課してもよいかもしれないと思いました。
- ・ 出品料高い。。。。
- ・ 出品料はやはり少し高いように感じます。これも仕方のないことかもしれませんが。
- ・ 特になし

その他、各役割の反省等

- ・ 賞状係は結局目録担当の山口先生に頼るところが大きかったです。
- ・ 研修部員ですが写真を送るミッションがよく分からず、記録担当の先生方のお仕事を増やしてしまい心苦しいです。
- ・ 搬入は生徒もよく動いてくれました。
- ・ 「金属板・ボルトナットケース」をちょっと早く引っ込めすぎました。

- ・ 細長電動ドリルをどこに返却か、さ迷ってる生徒がいました。
- ・ 個人的に、役割当たっていたのに土壇場で搬出を欠席してしまい、ご迷惑をおかけしました。申し訳ありませんでした。
- ・ いつも出しゃばりすぎで反省しています。
- ・ 表彰式の参加人数が少なかったのが残念です。目録は山口先生にいつもお任せしてしまいすみません。
- ・ デザイン作品のビニール前写真の依頼。事前に思いつかなかったのご迷惑おかけしました。ご協力ありがとうございます。
- ・ 表彰状担当です。表彰状の見本で、日付の部分を 8 月○日と、空欄にしておいていただけるとありがたいかもしれません。
- ・ 特に問題なし(2)

2024.08.23

生徒説明会・教員会議

- ・生徒に対しての説明会が行われたのは確認の意味も含めて良かった。
- ・高校展に参加する学校の顧問が集まる機会として、この会議は有意義であったと思います。
- ・25 年度の生徒説明会がないのであれば、今年度は行わなくてよかったのでは？と思います。

会場

- ・良い会場を 3 年間借りることが出来たのは、高校展部の先生方のご尽力だったと思います。ありがとうございました。
- ・江之子島文化芸術創造センターは、駅からも近く展示もしやすかったです。

展示計画

- ・会場のスペースの問題だと思うが、彫刻立体と絵画を同じ空間に展示することを出来れば区別出来れば有難いと感じた。
- ・展示スペースを調整出来る会場なので、作品が増えても対応出来る安心感があった良かったです。壁面計画のお世話ありがとうございました。

搬入

- ・例年に比べてスムーズに搬入できていたように感じた。
- ・スムーズでした。
- ・会場への搬入ありがとうございました。到着が遅くなり、お手間をおかけしました。

搬出

搬入・搬出についてはどの学校さんも積み込み、荷下ろし等スムーズにやっていたき時間も短縮できてよかったと思います。搬出の際にワイズさんには 5 時美術館出発とお伝え(配布したレジュメではそうになっていた)していたので、ワイズさんは積み込みなども含めた時間で計算しておられましたが、こちらの作業が早くて荷下ろししてからトラック到着まで少しタイムラグがあったのは申し訳なかったと思います。来年度は天王寺美術館なので搬入・搬出については高校展部のほうから時間指定があると思うので、特に搬出についてはトラックの美術館到着時刻は明確に指定できると思います。

搬入・搬出のトラックですが今年度は 1 5 0, 0 0 0 円でした。

来年度もできたらお願いしたいと思うのですが、公立の高校展の搬出日と私学の搬入日がバッティングしてそうです（おそらく 7 月末だったようですが）。ワイズさんは C ブロック優先で考えてくださっていて、私学の搬入日を一日ずらす案も検討してくれています。来年度に向けて私のほうでできるところまで交渉しておきます。

絵画のサイズが 1 0 0 ～ 1 2 0 号が可能となった場合。また各校が脚立を搬入する必要があり脚立が増えた場合など想定し、トラックのキャパを超えることも考え、もう一台トラックをレンタルして人員を一人増員した場合の見積もりもとらないといけないと思います。ワイズさんにはそのばあいでも 2 0 万を超えないようお願いしますと、伝えてあります。また、C ブロックのほうでご検討ください。

- ・スムーズでした。

会場当番

・顧問の人数が少ないので、1 人当たりの負担が大きくなってしまいました。これは会場当番ということはないのですが、会期中に本校の教員の方が観に行ってくださいなのですが、その際に受付あたりに立っておられた他校の先生（受付の先生ではないと思います）が、大きな声で

「〇〇高校の〇〇先生、今年で終わりやからなあ」等々、おっしゃってたそうです。

「まる聞こえやったで」と言われてしまいました。来年度そうなるのは事実かもしれませんが、そんな個人情報大きな声で言わないでほしいなと思いました。また、本校の生徒もいたと思いますし、生徒にはまだ何も伝えてないので少し配慮が足りないのではと思いました。会場では誰が聞いているかもわからないので、そのような話は控えたほうが良いと思いました（自戒も含めて）

・来場者数のカウントが会場当番の時間とズレていて、2つのパターンでカウント数を計上していた。

審査

- ・今回は分散開催の中でもCブロックは日程的に最後の方になったため、他のブロック作品を観ることが出来なかった。そのため自分の中での審査基準が曖昧になってしまった感があった。
- ・賞の数が、ちょうど良い具合におさまりました。
- ・分散開催なので仕方ないかもしれませんが、〇点賞をつける前提の審査だったので、難しかったです。他ブロックとの基準ずれも難しいですね。

各部門

（絵画）・「仮額」に対して、仮額までペイントする事、額の幅（厚み）と作品の幅（厚み）が同じなど一定の基準が必要だと感じた。

（工芸）

（版画）版画がないのは寂しいですね

- ・出品無し

（デザイン）・一定の目的がデザインには必要なので「テーマ設定」があるほうが良いのではないかと感じた。

・CGを使ったB1プリント作品とアクリル絵の具と筆で制作される作品と同列に観る事は可能か？

（彫刻・立体）

支援学校

- ・支援学校は別に支援学校の展覧会があるのでそのあたりの調整が必要

要項に関して

出品料に関して

その他

- ・高校展部の先生方大変お世話になりました。また、非常勤の先生や他教科の先生もすごく頑張ってくださっていて、良いチームワークだと思いました。皆さんとご一緒できて、楽しい高校展でほんとうによかったです。
- ・目録について、審査のためだけのものなのか？
- ・DMがハガキと折り畳みのリーフレットがほぼ同じ内容だった。各ブロックの展示期間と展示場所のみ。スポンサーの都合で印刷しなければいけないのは分かるが、、目録があったほうが良かったのではないかと感じた。
- ・工芸高校の参加により作品数も増えて、会場が賑わって良かったです。
- ・分散開催の3年間を通して元気のあるブロック、ないブロックの違いをまざまざと感じました。他校の良いところをもっと吸収していきたいです。

2024.08.19

生徒説明会・教員会議

【生徒説明会】

- ・オンラインで他の学校の雰囲気や人数などがみられたこと、先生方の丁寧な説明で著作権やグロイラインなどがよく伝わったようで、作品制作中も「オンラインの時に説明あったよな…」と生徒自身が気にかけている様子がありました。代表者だけが説明を聞くより、参加した生徒全員で聞いたのもよかったように感じます。
- ・規定違反の基準が R7 年度も今年度と同じなら、5 月段階のオンライン生徒向け説明会は引き続きあったほうがいい。
- ・生徒説明会の効果かどうかは一概には言えないが、結果的に問題作品が少なかった。今後も、ブロック交流の手段として有効だと思う。
- ・オンラインにして、非常によかったと思います。
- ・各学校の参加状況が曖昧な中でスタートしてしまったので、ご迷惑をおかけしてしまったかもしれません。説明に関しては予め録画しておいて配信する形がとれたら全員観ることができるなと思いました。

【教員説明会】

- ・欠席にも関わらず、会計・推奨シール・展示作品数などギリギリまでご対応いただき、ありがとうございました！
- ・会議の時間設定が早かったので、開始時間に来られない方が多かった。時間が短くすんでいたのも、1 時間遅い集合時間でよかった。

会場

- ・会場費は高くても、来場者も多いので頑張った作品を観てもらえるという意味ではよいと思います。
- ・とても良い。(多数)

会期

- ・できればあと一週遅い方が制作期間的にやりやすいが、予約のこともあるので仕方がない。良いと思います。
- ・早いのがこれ以外なさそう。
- ・夏休みの制作期間もあり、お盆前に展覧会も終了するので教員の休暇も取れるので良いと思う。
- ・早めの時期でよかった。

庶務

- ・今年度限りブロックごとの分散開催なので、次年度の高校展には関係ないとは思いますが、見えない仕事がたくさんあるので、一度整理したほうがいい。
- ・やむを得ない部分もあるが、ブロックの高校展担当主担の仕事の負担が重いと思う。

展示計画

- ・作品搬入待ちの作品スペースを開けた状態で暫く席を外している間に全体のバランスを見て作品位置を調整しなおしていただきました（デザイン）。
- ・朝イチ教員が一度集合し、キャンセル作品があったかどうかの共有をしたほうがいい。今回、隣の壁の他校の作品がキャンセルになり、一面使えるようになった。自校の展示が終わったあとに、隣の壁があいてるのももう少し広げて下さい、などと言われていたら困る。
- ・会場に対し、作品数も丁度よく、スムーズにできたと思う。
- ・たくさんの作品が展示できていた。受付横の壁にも展示があれば、よかったと思う。
- ・展示計画段階で電源使用の作品に配慮すべきでした。当日展示場所の変更になってしまい申し訳なかった。

搬入出（共同搬入出等）

- ・当初の日程から直前に搬入出の日が変更になったが、各学校柔軟にご対応頂きありがとうございました。搬入出トラック担当の先生、ご尽力頂きありがとうございました。

搬入

- ・前日積み込めるのはありがたい。
- ・トラックの時間が大幅に変わったことがあったが、限られた金額で、前日集荷にしてもらえたのは楽だった。
- ・トラックが大きくて、積み込みやすかった。
- ・各学校ごとに順番に呼び出してもよかった。出入口に人が集まりすぎて一般の方に迷惑をかけた。
- ・搬出の日程調整のための搬入1日前倒しだったと思いますが、搬入を一日前倒しにするのは、とても厳しかったです。
- ・例年当日搬出の学校到着の時間が遅く、ほかの先生に頼みにくかったのですが、今年は翌日集荷でとても助かりました。

搬出

- ・撤収作業の次の日にトラックが来るのはありがたい。日程を出品要項が出るタイミングで教えておいてもらえると良かった。急遽副顧問の先生にお願いしなくてはいけなくなり困った。
- ・搬出日は積み込みのみ、翌日返却の方が楽だ。
- ・タッカーの芯が残っていた。生徒が抜ききれないものもあったのだと思う。

会場当番

- ・係りの先生、当番表の作成ありがとうございました。
- ・会場当番の担当者は、受付ノートを作る作業もセットにしたほうがいい。

審査

- ・時間をかけて審査できた。

【規定違反等】

- ・いわゆるグロイテーマに挑戦したいという気持ちも分かるが、今回Dブロックではいろいろな方面から生徒を守るために、生徒の作品がすべて展示できるようにするために、生徒向けの説明会を事前に実施していただけない、撤去になった作品が出たので残念だった。今回の画風でも展示可能な展覧会で活躍してほしい。
- ・違反作品は少なかった。
- ・デザイン部門での規定違反2点
規定違反内容 ①作品のモチーフが公序良俗に反する。 →対応：撤去。
②B1 パネルに額装。作品のサイズ規定違反。
→対応：審査対象外になったが展示継続。

各部門

（絵画）

- ・出品数105点。優秀賞1、優良賞6、奨励賞23。

（工芸）

- ・出品数44点。優秀賞1、優良賞1、奨励賞5。

（版画）

- ・出品数11点。奨励賞2。

（デザイン）

- ・出品数73点。優秀賞3、優良賞3、奨励賞6。
- ・毎年のことだが、絵画で出品したほうがよい、これデザインか？イラストか？みたいな作品が多々ある。デザイン部門から出品部門を絵画に変更して展示した作品があった。もはや出品部門にこだわる必要性があるのか疑問。

（彫刻・立体）

- ・出品数10点。奨励賞1、集合作品奨励賞1。

支援学校

- ・支援学校にいたころ美工研には「研究会費を誰が払うのかということで例年入っていない」と先輩先生から聞いていた。入らないのが通例となっているので、参加してもらえるようなアプローチをすべきなのか…？高校展に出すには研究会に入り、会費を払い、会議に出席する必要があるが、支援学校では、金曜日から出張というのも難しいところが多いのではないかと思います。また、夏休みの時期に支援学校だけの作品展も行っているため、先生方も余裕がないのかもしれない。

要項に関して

- ・搬入出の日にちが直前で変更になったので、日にちだけは変更しないようにして欲しい。とはいえ今回のトラックのスケジュールは助かった部分が多い。
- ・枚方市展など、地域の展覧会と会期が近い場合は高校展にも出品できるようにすべき。今回なぎさ高校の出品が少なかったが、高校展の盛り上げに影響する。もともとは研究会が運営する美術・教育に貢献するための展覧会であるはず。夏に出品した高校展作品を冬の芸文祭に出品はもちろんできないが(年をまたいだ作品も×)、ブロック展出品作品は芸文に出品できる。時期・作品サイズともに近いのであれば出品できるようにするべきで、発表の機会は多い方が良く個人的には思います。来年は枚方市展の会期が後日らしいですが、今後のためにもまずはDブロック内で議論すべき内容かと思います。

出品料・運営用途に関して

- ・作品点数で取るのか展示スペースで取るのか、出品料に関しては最後まで曖昧だった。
- ・高校展の出品料が芸文祭(芸文連から補助が出るため)に比べて高く、学校によってはPTA等から負担(授業作品を出品していれば)してくれるが、このままいくと難しくなりそうです。

2024 年度 第 75 回高校展 E ブロック 反省会

2024.8.19

生徒説明会・教員会議

- ・生徒説明会はなし。
- ・E ブロック会議で高校展説明を実施した。

会場

- ・プリズムホールは値段が高いかもしれないけど、東大阪市役所よりも展示しやすく空間に広がりがありました。今後のブロック展で使用してもいいと思いました。
- ・とてもきれいで良い。

会期

- ・夏休みに入って一週間と少しの制作期間があってちょうど良いと思います。
- ・会期 1 週間位欲しかった。

庶務

展示計画

- ・布施北の校名札を貼る場所にピンが入らずテープで止めました。非常口あたりに展示する高校のスペースは広めのほうがいいと思いました。
- ・展示のしやすさは学校ごとに分ける方法が一番良いですが、作品の見やすさは部門ごとに分けたほうが良いように思った。(今年で分散は終了です

が...。)

- ・展示スペースの計画が各校ギリギリだったため、搬入当日に調整や変更が生じた。また、壁に空調穴や扉など、展示できないところが複数あったが、それが計画時に考慮されていなかったため、事前に確認しておく必要があると思います。

搬入出 (共同搬入出等)

搬入

- ・トラック業者さん、とても丁寧に積み込みしてくれました。
- ・他校の先生や生徒達も手伝ってくれて、ありがたかった。

搬出

- ・他校の先生や生徒達も手伝ってくれて、ありがたかった。
- ・搬入時は、学校別で展示室運び出しと 1 階のトラックへの運び入れの役割分担がされていたが、搬出時はバラバラだったので、事前に決めておいてもよいかもしれません。

会場当番

- ・二人体制で良かったです。午前・午後の当番でちょうどいいと思います。
- ・当日に当番のスケジュールを変更するのは急遽過ぎて対応に困った教員も多くいたのではと思う。
- ・E ブロックにきてすぐに、会場当番表の作成を担当しましたが、前任のブロックと形式や配置人数が違っていたため、皆さまにご迷惑をおかけしました。

審査

- ・全体的にスムーズにできましたと思います。
- ・デザイン部門のデジタルで描いたイラストレーションの印刷物を展示している作品は、AI が発達している昨今では見分けがつかない上に証拠もないので、疑わしい作品があった場合の判断が難しい。高校展部から疑念が出た作品について顧問が問われた時には作品完成までの制作のプロセスを伝えるためにもよく見ておく必要がある。
- ・優良賞の銀テープが見えにくかったので、今後も継続するのであれば赤などわかりやすい色に変えてもよいかもしれません。
- ・規定違反等は特になかった。

各部門

（絵画）

- ・
- ・
- ・

（工芸）

- ・
- ・

（版画）

- ・
- ・

（デザイン）

- ・昨年度よりも少し多めに入賞できた良かったです。
- ・

（彫刻・立体）

- ・

支援学校

- ・出品なし

要項に関して

- ・「出品目録」の記載内容が、かなり詳細な内容で、e-mail を受け取った時点で、定期考査期間中になっていて、生徒への連絡・集計まで時間がとても取れない状態であった。事前に内容を知っておきたかった。

- ・
- ・

出品料・運営用途に関して

- ・出品料が少し高いかも。
- ・
- ・

その他

- ・
- ・
- ・

2024 年度 第 75 回高校展 F ブロック 反省会

2024.8.2

生徒説明会・教員会議

- ・ F ブロックは生徒説明会は実施していない。
- ・ 教員説明は大きな問題はなかった。
- ・ 教員会議で細かな役割を決めきれないまま、進んでしまったので動き出してからばたばたした印象があった。

会場

- ・ 展示間隔丁度よく、心地よい空間ができたと思う。
- ・ 守衛さんが 9 時には開けてくれていた。
- ・ よかったと思う。

会期

- ・ この時期・間隔で良いと思う。
- ・ もう少し後の日程がありがたい。
- ・ 専門学校をお借りしているのでこちらの要望も汲んでいただけているのがありがたい。
- ・ 他ブロックよりも少し早い会期であったので見に来てくれる生徒も多かったと思う。

庶務

展示計画

- ・ 見やすかった
- ・ 会場図の長さが違っているためそれを元に割り付けをすると実際に展示するとトラブルになっている。（正確な長さを測っておく必要がある）

搬入出（共同搬入出等）

搬入

- ・ スムーズに展示作業ができた。
- ・ 積み込み時、トラックが時間通りの到着でとてもありがたかった。

搬出

- ・ 運送費が高騰する中、運送会社さんにかなり融通していただけた。

会場当番

- ・ 平均一人 1 ～ 2 回、多い方で 3 回当番に入っていた。
- ・ 会場当番は 3 人程度をあてていたので来場者が増えても対応できた。

審査

- ・規定違反等

各部門

(絵画)

- ・なし

(工芸)

- ・なし

(版画)

- ・なし

(デザイン)

- ・サイズが横幅がオーバーしていた。(保護フィルムの上からレースを貼っていた)

(彫刻・立体)

- ・なし

支援学校

- ・なし

要項に関して

- ・特になし
- ・
- ・

出品料・運営用途に関して

- ・送料が高騰しているので出品料の見直しも致し方ない。
- ・

その他

- ・総来場者 6 0 3 人
- ・

2024 年度 第 75 回高校展 G ブロック 反省会

2024.8.4

生徒説明会・教員会議

会場（堺市立堺高校）は駅近くで良かった

出品規格を生徒説明会で配ることについては遅いように思うが、
事前に配布しており、説明会は念押しの意味がある

生徒説明会の生徒参加 2 名は部員数が少なく不可能との意見があったが
本来は 2 名(教員と生徒)であるが、生徒が 1 人では参加しにくいと
いう意見が過去にあり、堺高校さんの好意で大きな教室をお借りすることができ
2 人生徒を説明会に参加可能にただけでもともと 1 名の参加である

会場

駅が近く、良かった

ブロック展もここで行っており、3 年目ともなると教師、生徒ともに
動き方や流れ、注意点が周知されており、スムーズ搬入出作業が行えた

会期

過去開催に比べ、早めでありがたかった

来年度 7/23 の早め開催を意識して今年もやや会期を早くした

庶務

高校展用にもらったお金はギリギリまで使い、適切な額であった

展示計画

慣れてきているのもあってスムーズだった

搬入出（共同搬入出等）

慣れてきているのもあってスムーズだった

来年度は、業者どうなるか、また値段の問題も大変心配である

トラック前に立つ係が必要（交通安全のため）今年度交通整理の係を当て忘れた

会場当番

去年の反省点として 2 人制でなく、もう 1 人ほしいとあったので高校展部 3 人
のうち 1 人が 1 日中いることになった

審査

- ・今年度、各校へ受賞連絡をしなかったが、受賞の連絡した方がいい
来年度は優秀賞のみ連絡(高校展部から FAX)
- ・規定違反等の気になる作品は特になかった

各部門

（絵画）

- ・例年と特に変更なし

（工芸）

- ・出品なし

（版画）

- ・出品 4 点中 3 点受賞であるが、レベルは保たれていると考える

（デザイン）

- ・今年度はデザインの賞の数が昨年度より奨励賞が多かった
少なくとも良かったという意見もあったが、レベルを下げたとは考えてい

ない

(彫刻・立体)

- ・今年度は出品が 1 点であった

支援学校

- ・デザインの出品作が B3 で小さく審査対象になり残念だった
- ・部門はあるが賞はないことを初めて知った

要項に関して

- ・適切であった

出品料・運営用途に関して

- ・来年度の運送費が心配

2024 年度 第 75 回高校展 **H ブロック** 反省点

2024.08.09

総入場者数… 7 2 6 人

作品数 絵画… 8 8 版画… 0 彫刻・立体… 3 デザイン… 4 0
工芸… 1 工芸（集合）… 1（4 6 点）

優秀賞 絵画 1

優良賞 絵画 5 デザイン 1

奨励賞 絵画 1 2 彫刻・立体 2 デザイン 3

各校の先生方に書いていただいたものそのままです

生徒説明会・教員会議

- ・生徒説明会はなしで良かったが、はじめからなしにしておけば良かった。
- ・教員会議は夏休みに入ってから開催だったので集まりやすかったが、生徒の制作追い込み時期でもあったので、もう少し早めても良かったかもしれない。
- ・生徒説明会は今回はなしでよいと思った。
- ・生徒説明会は今の内容ならなくて大丈夫だと思います。
- ・とてもていねいに説明して頂きました。可能であればあと一週間早いくらいはどうでしょう？
- ・教員会議は必要だと思います。搬入出・展示に関して最終確認をするタイミングはこの会議だと考えます。生徒説明会は各顧問から伝達すれば良いのでは。

会場

- ・お金がかからないので大変ありがたいが、少し遠い。
- ・パネルやワイヤー、フックなどを借りれてありがたい。 ・良い
- ・書類をまわしていただく手間はあるが、無償で借りられるのは大きい。

- ・ブロック展で使用しているところなので使い易い。手狭なので壁面割付には苦勞されたと思います。ありがとうございました。
- ・無料なのはとても良いが、場所・照明の点ではあまり使い易いとは思えません。有料の会場でももう少し短くしても良いのではと思います。
- ・分散時の記録を各ブロックで引きついでおいてほしいです。
- ・煉瓦館は毎年ブロック展で利用していますが、体験ホールが復活して良かったです。
- ・体験ホールが使えたので展示も無理なく収まり、良かったと思います。
- ・去年は使えなかったと聞いたが、今年は中のホールが使えてよかった。
自習スペースがあるため、懸念していた会場でのレポート記入は可能そうに見えたが、展覧会を見に来た生徒であのスペースが埋まってしまわないか（会場からクレームはないか）は気になった。ブロック展のとき、あのスペースでの記入を推奨すべきなのか、逆に利用している生徒に声掛けをすべきなのか、教員や会場当番の共通認識を図っておいたほうが良いと思う。

会期

- ・夏休みに入って少し制作もでき、お盆前で搬入出にも行きやすく、ちょうど良い時期だった。
- ・金曜日に搬入・搬出ができ、ありがたかった。 ・良い
- ・閉庁日に重なってなくて良かったです。
- ・例年学校閉庁日と重なっていた為、教員側の負担を考えるとこの時期が良いと思います。 ・平日搬入出は非常にありがたい。
- ・ちょうど良かったと思います。例年これぐらいの時期であればベストだと思いますが、来年が早すぎて心配です。

庶務

- ・スムーズと思う。
- ・ワイヤー貸し出し受付に生徒を配置して頂き助かりました。
- ・会場を半年前（1 年前）に仮押さえ、5 月ごろに本申し込み、その際には施設

利用のための書類提出をする。書類は年度当初にブロック長が用意する。併せて会場の物品貸出の申し込みについても、5月頃に仮押さえ、出品申し込みが終わり作品数がだいたい分かった時点で本申し込みに行く。申し込み用紙は搬入時に必要なので注意。

- ・高校展部の先生に全て行っていただきすみません。
- ・搬入時の物品貸出票が非常にわかりにくく、特に教科外の先生はどのように記入すべきかわからず混乱しておられる方が多かったように思う。

例えば、Hブロックのフックと会場のフックの記入場所が分けられていたが、判断するのは貸出側なので、記入者には判断がつかない。また、フックと一言と言ってもデザインパネルのフックなのか、絵画のワイヤーに通すフックなのか、ワイヤーを取り付けるために壁面に設置するフックなのかがわからない様子であった。全体開催での高校展での様式と違うように記憶しているが、ブロック展でも同様のものを使用すると思うので、内容やレイアウトを再考したほうが良いのではないか。全体開催高校展の様式にならうのはどうか。

展示計画

- ・割付は何とかおさまって良かったが、熊取交流センターの方と事前に展示計画を相談しておらず、当日に展示物を移動していただいたりご迷惑をおかけしてしまった。冬のブロック展では、事前に展示で使わせていただくスペースの相談があった方が良くと思う。
- ・岸和田高校さんの展示場所が少しはなれてしまったので、工夫すれば体験ホール内におさめられたかも…。
- ・良い ・図を事前にいただけたのでわかりやすかったです。
- ・臨機応変に対応してくださりありがたかったです。
- ・とてもいいねいに計算して下さり前回のようにスペース不足もなく安心できました。ありがとうございました。
- ・計画を立てて下さった先生、本当にありがとうございました。展示に余裕があったと思います。
- ・良かったと思います。が、受付をしていて感じたのが、売店側の入り口から入

ってこられた方々が見えにくいので、パネルを分割するなど視界が良くなるように工夫しても良かったと思いました。

搬入出（共同搬入出等）

- ・問題なかった ・特に支障なく終わりました

搬入

- ・トラックの運搬も会場の展示作業もスムーズに進んで良かった。
- ・スムーズでした体験ホール内が暑くて大変でした。
- ・かなり早かったので次回もそのつもりで待機します？
- ・スムーズでした。パネル等運んでくれた生徒たちよく働いてくれました。
- ・トラックが予定よりどんどん早まるのはいつものことですが、元々のスケジュール段階で予定をもう少し詰めてもいいと思います。脚立を持参したところ、貸してほしいと展示途中の段階から他校から声がかかりました。基本的には自分たちで用意をする、もしくは煉瓦館のものを使うルールを決めておくなど今後考えてもいいかもしれません。貸し出しは全然かまわないのですが、作業の途中で声がかかっていたので気にしている者がいたので書きました。
- ・パネルなど会場で借りるものの準備がトラック到着以前～搬入中に開始できればもっとスムーズに行くのではないか。

搬出

- ・9：00に表彰をおこない、その後9：45までに搬出作業が終わり、とてもスムーズでした。
- ・トラックがやはり早まるようなので、各校で時間に合わせて調整するなども検討してほしいです。生徒の集合が間に合わなかったりします。搬入出ともに作業のスタート時間に関係なく作品を外し始めたり…などがあったので、集合・注意の後スタートするなど時間厳守をお願いします。
- ・トラックの到着時間がいつも早まっていくので、今回はいつもより詰めてみました。今回の時間を見て次年度さらに詰めますね。

会場当番

- ・初日の午前に当番したが、特に問題なく、土曜日だったのでご家族連れのお客さんが多数来場されていた。
 - ・当番の仕事内容がきちんと引き継ぎされていた。 ・問題ありませんでした
 - ・鑑賞レポートのハンコを押すのに黙ってプリントを差し出し、押して「どうぞ」と渡しても黙って受け取る子が多くて驚いています。
 - ・今回ラインで送られてきたようなことがマニュアルとしてまとめられた紙が一枚事前にあれば、ライングループに入っていない教科外の先生方も助かるのではないか。
- 割り振りありがとうございました。無理をお聞き届けいただき助かりました。

審査

- ・搬入後15：30～16：00頃で審査を終えられて良かった。
- ・分野ごとに教員を割り振り、回る人数が少ないのでやや賞のつけ方にかたよりを感じた。全員で回っても良かった。（時間がかかるが）
- ・各部門ごとの審査人数を均等にしたほうが審査のかたよりを防げると思います。
- ・各ブロックごとで高校展基準の審査というのが難しかったです。

規定違反等

- ・四肢欠損の表現や著作権侵害で2作品が取り外しになったことは残念だった。
- ・〇〇高校の作品（とりはずし） 高校展部として、他者の写真等の使用については少し指針を出しても（人物だけではなく風景やその他の写真の使用について）たくさんの生徒が既存の写真を引用していると思う。
- ・オリジナリティや禁止表現について生徒へのていねいな説明が必要と感じた。
- ・撤去になりましたが、今後のことを考えるとそれで良かったと思います。特に市立美術館で展示したときに多くの人に見られることを考えると…。

顧問で事前に止めておく必要が。気をつけたいです。

- ・2点あったが、四肢欠損についてはもう少し教員間での周知が必要だったと思う。年度当初の総会では言及があったが、教員説明会の際には特に触れられていなかったように記憶している。時期的に手遅れかもしれないが、教科外顧問のところも多いため、念押しは必要ではないか。著作権違反作品についても同様に、しつこいほど教員間で共有しておくべきだと感じた。
- また、撤去等の処置についても、全体開催の際は「疑念がある」という時点で審査中であろうと会期中であろうと一時取り外し、本部で検討および顧問への連絡ののち、本部の判断で再展示・あるいは撤去としていたはず。（程度によっては、顧問と相談の上、模倣した部分を黒い紙で覆い隠して展示した年もあった。）審査対象外としたからといって、展示するという判断はやはり高校展の要項に反すると思うので、もう一度審査前に要項を教員全体で確認する・審査基準も確認する、ということを徹底すべきではないか。

各部門

（絵画）

- ・例年より描写力や表現力が高い作品が多かったように感じた。
- ・要項に明記されていることがすべてだと思います。

（工芸）

- ・泉大津高校の寄せ木細工のスマホスタンドがいつも素敵だと思う。

（版画）

- ・出品なし

（デザイン）

- ・今年度は作品数も少なく、少し内容もさみしく感じた。
- ・来年度はテーマ部門も復活するので期待したい。
- ・同一校で同じ切り絵が2点入選していたこともあり、基準が少し不透明に感じられました。

（彫刻・立体）

- ・分散開催になり展示スペースも狭いため大きな立体作品も減ってしまっ

いるので来年度を期待したい。

- ・出品数が少ないこともあり、審査が難しいのでは？と思います。
- ・例年の受賞数を参考に審査に当たりました。

要項に関して

- ・例年通りで分かり易い

出品料・運営用途に関して

- ・規定違反で取りはずしとなった作品の出品料について質問があったので高校展部総務へ問い合わせたところ、例年、返金等の対応は行っていないとのことだった。
- ・取りはずしの作品についての出品料の返金について、学校が出しておらず、生徒個人が負担している場合、説明が必要。
- ・分散開催も今回で最後なので今さらですが、H ブロックは会場費が無料なので、絵画出品料1点 1,500 円は高く感じました。今後 H ブロックに還元はあるのでしょうか？（冗談です）
- ・30号 1,500 円はやっぱり高いですね。

その他

- ・生徒の推奨作品選定についてはシールを貼って Google フォームで選んだ作品について記入してもらった。昨年と同じ形にしたが、生徒は慣れているので今後もこの形が良いのかもしてない。
- ・高校展部の先生方、本当にありがとうございました。
- ・いろいろと大変な準備をありがとうございました。来年初の天王寺ということとでよろしくお願い致します

2024 年度 第 75 回高校展 **K ブロック** 反省会

生徒説明会・教員会議

会場

今年度も K ブロックは体育館開催。
真夏で空調が効きづらく、鑑賞中に体調不良者が出た。

会期

・今年度は平日スタートだったため、スムーズにスタートができた。
（去年は土曜日スタートで、準備や当日の人手不足で困ることがあった。）
・月曜日の審査日は、展示日にしなかったため、会場に人はおらず、作品の現物を
をしっかり見ながらスムーズな審査ができた。

庶務

2024. 8. 7

展示計画

- ・今年は工芸（立体）作品が多かったため、展示計画に時間がかかった。
- ・鑑賞に必要な間隔をあけ、全ての出品作品を展示するため試行錯誤した。

搬入出（共同搬入出等）

搬入

搬出

会場当番

- ・特に問題なし。

審査

- ・今年度は今まで 5 分野（絵画・デザイン・工芸・版画・彫刻）に分かれて審
査していたところを、4 分野に分けて審査を進めた。（絵画・デザイン・
工芸・版画彫刻）1 分野あたりの審査人数が増えたことで、より多くの教
員の意見を取り入れることができた。
- ・奨励賞以上の候補作品に、全教員でふせんを貼って回ってふせんの数を参考
にして最終優秀賞（優良賞）を決定した。多くの教員の意見を取り入れる
ことができたので、安心して審査を進められた。

・

・規定違反等

各部門

(絵画)

・特になし。

(工芸)

・特になし。

(版画)

・特になし。

(デザイン)

・特になし。

(彫刻・立体)

・特になし。

支援学校

・

・

・

要項に関して

・特に問題なし。

出品料・運営用途に関して

・特に問題なし。

・

その他

・熱中症対策を一層丁寧に進める必要がある。

○第 45 回大阪府高等学校芸術文化祭 美術・工芸部門コンクール展 報告

日 時： 令和 7 年 1 月 22 日（水）～1 月 26 日（日）10:00～18:00

（最終日は入場 15 時 30 分まで、観覧 16 時まで）

1 次搬入出日： 搬入 1 月 17 日（金）、搬出 1 月 19 日（日）、於 港南造形高校

2 次搬入出日： 搬入 1 月 21 日（火）、搬出 1 月 26 日（日）、於 枚方市総合文化芸術センター

作品審査日： 1 月 18 日（土）

表彰式： 1 月 26 日（日）

会場： 枚方市総合文化芸術センター内 ひらしん美術ギャラリー、イベントホール、創作活動室

来場者数： 1945 名

【展覧会総評】

・枚方市総合芸術センターでの実施は 3 年目となり、搬入出や展示は概ねスムーズに行うことができた。

・絵画と平面デザインの壁面展示数を増やした。

これは、次年度より会場となる大阪市立美術館での壁面展示数に合わせるためと、絵画・平面デザインの出品数が年々増加傾向のため、展示数を少しでも増やすためであった。

展示点数が増えたため、展示効果が下がってしまうことを懸念し、キャプションの字を大きくするなど出来る限りの対策を行った。

・今年度も、施設内の別の催しに来られた市民の方々に作品展を鑑賞していただくことができ、広く展覧会を知っていただく機会となった。

○次年度 コンクール展会期予定

次年度の会場は、大阪市立美術館になります。

また、日程が例年より 1 週間程早まります。日程の確認、制作日程の調整をお願いします。

1 次搬入 2026 年 1 月 9 日（金）@港南造形高校

審査 1 月 10 日（土）

1 次搬出 1 月 11 日（日）

2 次搬入 1 月 13 日（火）@大阪市立美術館

会期 1 月 14 日（水）～18 日（月）

2 次搬入 1 月 18 日（月）

○2025 年度全国総合文化祭、近畿総合文化祭大阪代表選出について

近総文については今年度高校展より選出済み。全総文については今回の第 45 回芸文祭コンクール展の 1、2 年生から選定作業を行った。内定生徒の所属校には別途内定通知書を送付し、参加承諾書を受け取り済み。

第45回芸文祭美術工芸部門コンクール展 審査結果

部門		出品数	入選数 (含 奨・優)	奨励	優秀	入選率	奨励率	優秀率
絵画	(昨年度)	483	150	24	18	31.1%	5.0%	3.7%
		455	116	21	11	25.5%	4.0%	3.1%
版画	(昨年度)	36	14	4	2	38.9%	11.1%	5.6%
		37	14	4	2	37.8%	11.9%	4.8%
彫刻・立体	(昨年度)	43	21	4	3	48.8%	9.3%	7.0%
		47	20	6	2	42.6%	9.3%	5.6%
デザイン	(昨年度)	293	96	23	16	32.8%	7.8%	5.5%
		251	95	18	15	37.8%	7.1%	4.8%
デザイン	平面	289	94	23	15	32.5%	8.0%	5.2%
		247	94	17	15	38.1%	6.9%	6.1%
	立体	4	2	0	1	50.0%	0.0%	25.0%
		4	1	1	0	25.0%	0.0%	0.0%
工芸	(昨年度)	90	56	13	7	62.2%	14.4%	7.8%
		81	54	12	6	66.7%	13.3%	6.1%
合計	(昨年度)	945	337	68	46	35.7%	7.2%	4.9%
		871	299	61	36	34.3%	6.7%	4.0%

令和7年度 全総文・近総文 大阪代表内定者一覧 R6.12.6

	学校名	名前	学年	部門
公立 全 総 文	大阪府立港南造形高等学校	松尾 那実	2	平面
	大阪府立港南造形高等学校	吉良 唯花	2	平面
	大阪府立港南造形高等学校	津田 菜摘	2	平面
	大阪府立港南造形高等学校	鈴木 紅葉	2	平面
	大阪府立港南造形高等学校	立川 剛志	2	平面
	大阪府立港南造形高等学校	野村 百花	2	平面
	大阪府立港南造形高等学校	辻 日向	2	立体
	大阪府立港南造形高等学校	野間口 真祐喜	2	立体
	大阪府立港南造形高等学校	吉田 悠育	1	立体
	大阪府立港南造形高等学校	小西 悠仁	2	立体
公立 近 総 文	大阪府立港南造形高等学校	天野 七海	2	平面
	大阪府立港南造形高等学校	松尾 那実	2	平面
	大阪府立山本高等学校	伊藤 まりん	2	平面
	大阪府立港南造形高等学校	小沼 悠仁	2	立体
	大阪府立港南造形高等学校	辻 日向	2	立体
私立 全 総 文	関西創価高等学校	古友 七実	2	平面
	樟蔭高等学校	東端 鈴	2	平面
	帝塚山学院高等学校	井坂 歩	2	平面
	金光八尾高等学校	松井 留美	2	立体

私学近総文代表者はR7年度私学展より選出

《2025年度 大阪府出品数》

	平面 (公立：私立)	立体 (公立：私立)
全総文	9 (公立6・私学3)	5 (公立4・私学1)
近総文	5 (公立3・私学2)	2 (公立2)

「京都市立芸術大学・油画技法」報告

日 時：令和 6 年 12 月 25 日(水) 10:30～17:00

会 場：京都市立芸術大学

参加者：教員 17 名

主 題：「油画技法の実技研修・鑑賞用サンプルづくり」

講 師：飯田真人 先生（美術教育教授）

唐仁原希 先生（油画専攻講師）



昨年に京都市下京区に移転した京都市立芸術大学の新キャンパスで、構内見学と油画の実技研修を行なった。

●新キャンパス見学

飯田教授の案内で、キャンパス内の各施設を見学して回った。

研修参加者には卒業生も多く、かつての沓掛キャンパスと比較して感想を呟く声も聞かれた。

施設が新しいことはもちろんながら、時代や土地ならではの様々なこだわりも。

各棟の屋根に微妙な波打った傾斜がかかっているのは、京都を取り囲む山々や街と合わせた時になじむためであったり、京都駅が近いために外の音を遮断したい学部や学科に配慮した棟の並びになっていたりなど。

目玉は共有工房で、専攻に関わらず学生が使用できる木工や金属加工の機材が揃う。



全体として旧キャンパスより充実して便利になった印象だが、特にそれを感じたのは工芸科、デザイン科、版画専攻の施設だ。また、毎年行われる制作展が美術館ではなくキャンパスでの開催となったことで「この作品をこの施設内のどこにどのように展示するか」と、学生の「作品と空間の関わり」への意識ははるかに向上していることだろう。

●研究会・理事長からの挨拶

「本日、会長は自校の台湾研修に同行、自分も校務や生徒指導のため、せっかくの実技に参加できずとても残念です。この研修により皆様の日々の授業や教育活動に役立つものとなることを心から願っています。この大切な時間を有効に、教育の質をさらに高めるための情報交換や意見交換ができればと思います。お互いに学び合う場としていただきたいと思います」

●講師・唐仁原先生より

「本学で油画専攻となった学生には必ず『皆さんはなぜ描きますか？』と問いかけている。それを軸にしながら何度も話し合いを重ねて作品づくりに取り組ませる」

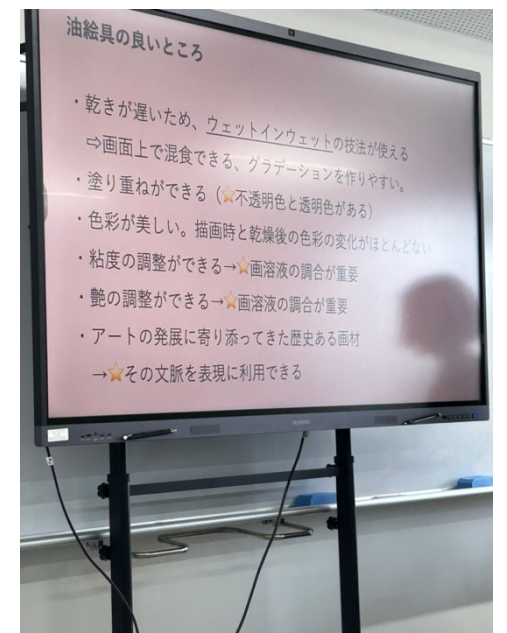
「自分は古典絵画とアニメ漫画カルチャーを MIX したものをこれまで制作・発表してきた。時代や表現が乖離したものを 1 つの作品に混ぜることによって観る人によって解釈の異なりが生じ、それにより対話型鑑賞を促すような作品づくりを主題としている」

現在、美術学部で一番人気の専攻は油画とのこと。美大受験の漫画などの影響もあるかもしれないが、この後の唐仁原先生の講義でも説明される「油画の歴史や多様性、幅の広さ」が大きいと感じた。

① 油画の歴史

唐仁原先生は学生用に作った講義スライドをもとに短時間の講義を行ってくれた。

「油画つまり西洋絵画というものは、歴史とともにその役割や意味合いを変えてきた。かつては肖像画が歴史画など記録や情報の伝達の意味が大きかったが、近代に写真や印刷技術が生まれたことにより印象派やキュビズムなど個人の表現を追究するものとなっていった。このように、油画の歴史は科学技術の発展、それにより必然的に変化する人間の思想や哲学と大きく関連している」



② 基礎知識

「先ほども触れたように、油画は科学技術の発展とともにその在り方を広げてきたわけだが、実際にそれに伴い新たな油画材の開発が進み、顔料の色はより豊かになり溶剤の種類も増えて、作家の個人の表現をも広げてきた。今日はそれらの画材についてまとめたプリント資料も用意したので、参考にしながらこの後の実技に取り組んでほしい」



唐仁原先生は資料とともに主に油絵の具の溶剤について解説。

揮発性油、乾性油、乾燥剤の基本的役割のほか、それぞれの具体的な使用法や表現方法に合わせた選び方など、初心者だけでなく学生時代に油画専攻だったという上級者の細かい質問にもわかりやすく回答してくれて、まさに「痒い所に手が届く」内容だった。

先生の個人的おすすめとして、溶剤は調合の割合がすべて表示されているもの（クサカベ製など）が使いやすい、油画について学ぶには「絵画制作入門」「絵画の材料」という2つの名著がとても参考になるのでぜひ読んでほしい、とのことだった。

ここでいったん昼休憩を挟み、いよいよ実技へとうつる。

●実技・課題内容



4枚のキャンバスボードに、用意された様々な溶剤や筆を用いて多様な油画表現を行う。制作したこれらの表現サンプルを持ち帰って各校の授業などで生徒の参考としてもらう。

4枚のうち3枚はすでに油絵具で下地が塗られており、白、深緑、灰の3色。

これらの描画材や支持体はすべて飯田教授と唐仁原先生のご厚意により大学側から無料で提供してもらった。心から感謝したい。

実技が始まれば、参加者はみんな思い思いに筆を動かしていく。

下地の色の重要性を感じたのは深緑色に塗られたキャンバスに描いた時。唐仁原先生のおすすめで自身の手を描いたのだが、下地の緑が透けて見えることにより手の陰影に特有の透明感が表れ、肌の奥の血管を感じる仕上がりになった。生徒の制作指導にも活かしたい。



他にも、何種類もある白色の使い方についても助言があった。

学生は安易に「チタニウムホワイト」を使いたがるが、不透明性が高く強すぎるので悪目立ちすることもあり、使う場面をよく選ぶべきとのこと。作品になじませたり混色することを考えると、中塗りでは「シルバーホワイト」仕上げ時には「ジンクホワイト」など、よりよい作品づくりのためには、目的で使い分けるべきである。



●最後に

油彩制作の一番の悩みどころである「すぐに固まらない」問題であるが、飯田教授が作品を重ねないように持ち帰れるお手製のキットを準備してくれていた。このアイデアに参加者からは賞賛の声があがった（写真を撮影しそびれたため詳しく知りたい方は参加者まで！）

また、研修全体においても「油画のそこが知りたい、が知れた」「今の大学は制作指導が丁寧でうらやましい。自分もこんな環境で学びたかった」と好評であった。

個人的にはOGとして沓掛キャンパスへの懐かしさを感じるとともに、新キャンパスだからこその制作活動に打ち込む学生たちの、今後の一層の活躍を確信した。

（研修部・畑みのり）

2024 年度研修部 活動報告

令和7年2月14日(金) 役員会
令和7年3月7日(金) 年度末総会

1. 研修部員（敬称略） 計 25 名

- A 岡田晃希／豊島 畑みのり／園芸（部長）
- B 新堀光枝／柴島 飯塚牧子／吹田 小本佳美／淀川清流
岡本直子／北摂つばさ 北川亜紀／福井
- C 結城啓介／西成 中井亜樹／教育センター付属 村田和久／工芸
和田周子／桃谷(通) 橋本絵里奈／咲くやこの花
- D 井野智絵／緑風冠 飛峪由紀／芦間 寺坪祐輝／寝屋川(定)
- E 百合野美沙子／桜和（副部長） 梅木沙羅／みどり清朋
- F 岡垣有香／松原
- G 植埜義博／堺工科 大沢里子／堺上
- H 山田莊子／和泉総合 榎本幸弘／久米田
- K 若原茉美 佐藤瑞穂 喜多実／港南造形
（部長） 畑みのり／Aブロック・園芸
（副部長） 百合野美沙子／Eブロック・桜和

2. 各種研修について

- 新人・全体研修…主に授業・学校見学、協議会などの形式で行う研修
講師は高校教員でも外部講師でも可
- 実 技 研 修…授業題材に教員が取り組む実践形式の研修
講師は高校教員でも外部講師でも可、材料費は必要に応じて徴収
- 思 考 研 究 会…研究部と合同で行う企画
美術工芸教育における「思考」について協議・実践する

3. 今年度年間活動報告

	研修部事業	研究会事業
4月	26日(金)第1回部会@工芸高校	
5月		総会資料掲示
6月	28日(金)実技研修①「木工入門」@豊島高校 講師：岡田晃希先生（豊島） 22名参加 ●デザインカッター等を用いた簡易な木工制作の授業実践 終了後 第2回部会	
7月		
8月	30日(金)新人・全体研修① 「高校展を語る会」@天王寺高校 18名参加 ●分散型開催となっている高校展の各ブロックの作品や課題 など共有（作品は写真で共有）	高校展
9月		
10月	18日(金)実技研修②「木工応用」@豊島高校 講師：岡田晃希先生（豊島） 12名参加 ●木製カトラリー制作の授業実践 ●ノミや漆などの基礎知識講習 終了後 第3回部会	
11月	研究部共催「思考研究会」@港南造形高校 8名ほど参加 ●版画・陶芸・グラフィックデザインの分野授業での困りごと について共有や助言	
12月	25日(水)新人・全体研修② 「京都市立芸術大学研修」@京都市立芸術大学新キャンパス 講師：飯田真人教授 唐仁原希先生 17名参加 ●油画材についての講習（オイルの役割や配合など） ●様々な筆致や表現の油彩ミニサンプル制作 終了後 第4回部会	
1月	年度末総会に向けて今年度活動報告を部内で確認 （この資料を元とする）	芸文祭
2月		
3月	今年度活動報告	年度末総会

令和7年3月7日(金)

研修部長 園芸高校 畑みのり

6月28日(金) 第1回教員実技研修「木工入門」

参加者 22 名 会場：豊島高校

講師の岡田晃希より私物の木材を提供いただきました。

参加者お1人につき材料費として 100 円程度徴収して岡田先生に寄付しました。

10月18日(金) 第2回教員実技研修「木工応用」

参加者 12 名 会場：豊島高校

講師の岡田晃希より私物の木材を提供いただきました。

参加者お1人につき材料費として 300 円程度徴収して岡田先生に寄付しました。

12月25日(水) 第2回新人・全体研修「京都市立芸術大学研修」

参加者 17 名 会場：京都市立芸術大学

大学講師の唐仁原希先生に、大阪府教育振興室講師等謝礼額基準表に基づき、
以下の講師料を支払いました。

講義 1 時間につき 7,000 円 講義時間は4時間であったため

$$7,000 \times 4 = 28,000 \text{ 円}$$

計 28,000 円 を会計部から支出いただきました。

したがって年間の支出は **合計 28,000 円** となりました。

※昨年度より、「非常勤派遣」は、研修には適応されない。

令和6年（2024）年度 Aブロック活動報告

○第1回ブロック会議 4月12日(金) 於 豊島高校 14:30～

- ・異動者確認、分掌配置および活動計画確認
- ・今年度の生徒・教員実技研修について
- ・昨年度Aブロック展の振り返り
- ・昨年度決算報告
- ・その他情報交換

○第2回ブロック会議 6月7日(金) 於 千里青雲高校 14:30～

- ・高校展出品申し込みおよび役割分担、展示方法、展示計画確認
- ・生徒・教員実技研修について 内容検討
- ・研究会費の納入
- ・その他情報交換

○第3回ブロック会議 7月19日(金) 於 東淀川高校 14:30～

- ・第75回高校展出品校教員説明会（出品規定、搬入出、展示、会場確認ほか）
- ・出品料の納入
- ・教員役割分担の打ち合わせ、諸連絡
- ・今年度の生徒・教員実技研修について
- ・その他情報交換

○高校展Aブロック 於：豊中市文化芸術センター 展示室

会期：2024年8月7日(水)～11日(日)

作品集荷： 8月6日(火) 午前

搬入： 8月6日(火) 午後

搬出： 8月11日(日) 15:30～

作品配送： 8月12日(月) 午前

○第4回ブロック会議 10月11日(金) 於 刀根山高校 14:30～

- ・高校展について まとめ、振り返り 次年度日程の確認
- ・ブロック展役割決定
- ・生徒・教員実技研修会について 詳細確認
- ・その他情報交換

○生徒・教員実技研修会 11月2日(土) 於 千里万博記念公園 10:00～17:00

雨天のため、当初予定の自然公園内でのスケッチ会より、国立民族学博物館内部のスケッチに変更+太陽の塔内部見学

生徒29名+教員9名=38名参加

○第5回ブロック会議 12月6日(金) 於 豊島高校 14:30～

- ・生徒・教員実技研修会について振り返り
- ・芸文祭について確認
- ・ブロック展について 内容詳細の確認と教員出品の確認
- ・その他情報交換

○芸文祭（一次） 於：港南造形高校

搬入： 1月24日（金） 午後

作品審査： 1月25日（土） 終日

搬出： 1月26日（日） 午後

○芸文祭（二次） 於：枚方市ひらしん美術ギャラリー

会期：2026年1月22日（水）～1月26日（日）最終日は16：00まで

搬入： 1月21日（火） 午後

搬出： 1月26日（日） 16：00～

○第47回 Aブロック展 於 千里文化センター「コラボ」

会期：2025年1月31日（金）～2月2日（日）最終日は15：00まで

搬入： 1月31日（金） 15：00～

搬出： 2月2日（日） 15：30～

生徒によるワークショップ：2月1日（土）38名参加

○第6回ブロック会議 2月2日（日） 於 千里文化センター 第3会議室 16：15～

- ・ブロック展について まとめ、振り返り 次年度日程の確認
- ・芸文祭について まとめ、振り返り 次年度日程の確認
- ・50周年記念誌について
- ・次年度のブロック長、分掌配置希望調査
- ・役員会、総会に向けて

令和6年度 Bブロック 活動報告（案）

1. 研究会所属・役割分担

分掌等	学校名	担当者名（敬称略）
ブロック長	大冠	藤田 ちあき
副ブロック長	摂津	大高 陽子
	春日丘	西村 美穂
研究部（3人）	茨木工科	松田 麻衣子
	茨木西	渡邊 敏朗
	山田	滝 明香
高校展部（7人）	春日丘	西村 美穂
	柴島	山口 真弓
	島本	迎田 祐輔
	吹田東	丸山 勉
	北摂つばさ	近藤 朋美
	三島	鴨井 陽香
	淀川清流	関 友道
芸文祭部（6人）	阿武野	中原 崇
	柴島	時安 希未子
	柴島	岸野 照葉
	摂津	大高 陽子
	淀川清流	金 里紗
	芥川	落合 諒音
研修部（5人）	柴島	新堀 光枝
	北摂つばさ	岡本 直子
	吹田	飯塚 牧子
	福井	北川 亜紀
	淀川清流	小本 佳美
会計部（2人）	大冠	藤田 ちあき
	槻の木	松浦 響子

※茨木・千里・
北千里・高槻北は
非常勤講師

2. 活動報告

回	名称	場所	日時	活動内容・課題等
1	第1回ブロック会議	大冠高校	R6年 4月 19日（金）	分掌等確認 活動計画
2	Bブロックスケッチ会	国立民族学博物館	R6年 4月 27日（土）	講演会 スケッチ 交流
3	第2回ブロック会議	春日丘高校	R6年 6月 7日（金）	高校展申込 役割分担
4	高校展出品校教員会議	柴島高校	R6年 7月 12日（金）	出品料納入ほか
5	第75回 （Bブロック）高校展	茨木市立上中条青少年 センター	R6年 8月1日（木）～ 8月4日（日）	2日（金）推奨作品選定 4日（日）表彰式
6	第3回ブロック会議	春日丘高校	R6年 10月11日（金）	秋期生徒実技研修 高校展総括 ブロック展
7	秋期生徒実技講習会	大阪芸術大学	R6年 10月26日（土）	実技講習会・キャンパス見学
8	第4回ブロック会議	柴島高校	R6年 11月22日（金）	ブロック展 役割分担
9	第47回 Bブロック展	豊中市千里文化セン ター「コラボ」	R7年 1月10日（金） ～ 1月12日（日）	1月12日表彰式
10	第5回ブロック会議	春日丘高校	R7年 2月21日（金）	ブロック展反省 総括 次年度役割

令和6年度 Cブロック 活動報告

月日	曜日	場所	内容
4月12日	金	● 第1回ブロック会議 西成高校	・ブロック内の活動の確認(年間予定) ・研究会費の取り扱いについて(用途と主旨) ・R6研究会分掌所属について(案に基づいた変更等の可否確認) ・高校展(要項あり)、ブロック展の内容確認 ・その他
6月7日	金	● 第2回ブロック会議 西成高校	・高校展申し込み(会議日締め切り)と今後の流れ、役割分担等 ・ブロック展要項検討 ・生徒交流会(実技研修)について ・その他(高校展の出品内容注意:トラック関係)
7月23日	火	● 高校展出品校教員・生徒説明会 今宮高校 14:00～17:00	・出品校顧問教員対象 ・役割分担の打ち合わせ、諸連絡など
8月6日 ～11日	火～日	高校展(Cブロック)	江之子島文化芸術創造センター 搬入: 8月4日(日)17:30～20:30 搬出: 8月11日(日)15:00～17:00
9月6日	金	● 第3回ブロック会議 西成高校	・高校展 総括 ・ブロック展会場「大阪市中央図書館ギャラリー」→「阿倍野市民学習センター」に急遽変更(工事に関わる休館のため) ・生徒交流会→中之島スケッチ大会に決定(ギャラリー費用がかかるため)
10月20日	日	● 生徒交流会 中之島スケッチ大会	・10:00～16:00実施。 ・3校参加、生徒総数10名程度。
12月13日	金	● 第4回ブロック会議 西成高校	・ブロック展要項確認 ・DM発送作業(ラベル貼り)、ポスター配布
2月1日 ～2月2日	土日	● Cブロック展 阿倍野市民学習センター 搬入: 1月31日(金)13:30～17:00 搬出: 2月2日(日)15:00～17:00	・2日開催 ・参加校11校、作品点数約100点。 ・来場者数約200名
3月7日	金	● 第5回ブロック会議(緊急) 年度末総会后	・次年度会場決め ・副ブロック長決め

令和6年度 Dブロック活動報告

名称	日時	予定場所	内容	備考
高校展 生徒説明会	2024/5/28（火）	オンライン Zoom	出品規定に関する概略説明 著作権について 台風接近等について その他	出品校の代表生徒2名 参加
第1回 ブロック会議	6月7日（金） 15:45～17:00	芦間高等学校 美術教室 & オンライン	① 役割分担の本決定 ② 各研究会より ③ 年間活動計画 ④ 高校展関係 ⑤ 総会より ⑥ 生徒実技講習会 ⑦ 各研究開より進捗状況 ⑧ 情報交換、諸連絡 他	対面6名 オンライン6名
				高校展申し込み用紙 提出メ切
7月5日（金）高校展の出品目録を目録担当者にメールで提出				
高校展出品校 教員会議	7月12日（月） 14:00～17:00	芦間高等学校 美術教室 （集合型）	① 教員役割分担の打合せ ② 出品料の納入 他	出品校の顧問教員対象
第75回高校展 Dブロッ ク	【搬入】 7月30日（火） 10:00～18:00	枚方市総合文化 芸術センター ひらしん美術 ギャラリー	① 会場設営 ② 作品の搬入と展示	会場当番あり
	7月31日（水）～ 8月5日（月） 10:00～18:00 ＊最終日は16:00まで		展覧会期間	
	【搬出】 8月5日（月） 16:00～18:00		① 作品の撤去と搬出 ② 会場の復旧	
生徒実技講習会	11月2日（土）	交野植物園	スケッチ	中止
第2回 ブロック会議	11月8日（金） 15:45～17:00	芦間高等学校 美術教室& オンライン	① 北河内展関係 ② 各研究開より進捗状況 ③ 生徒実技講習会の 振り返り（終わってた ら） ④ 情報交換、所連絡 他	対面1 オンライン7
第45回（令和6年度） 大阪府高等学校 芸術文化祭美術・工芸部門 コンクール展	【搬入】1月21日 R7年 1月22日（水）～	枚方市総合文化 芸術センター ひらしん美術 ギャラリー		
	【搬出】1月26日			
第42回 北河内展	【搬入】R7年 1月28日（火） ＊時間は未定	枚方市総合文化 芸術センター ひらしん美術 ギャラリー	① 会場設営 ② 作品の搬入と展示	参加校14校（府立高校の み）
	R7年 1月29日（水）～ 2月3日（月） ＊時間は未定		展覧会期間	会場当番あり
	【搬出】R7年 2月3日（月） ＊時間は未定		① 作品の撤去と搬出 ② 会場の復旧	
第3回 ブロック会議	R7年 1月28日 16:00～18:00	枚方市総合文化 芸術センター ひらしん美術 ギャラリー	① 北河内展関係 ② 各研究開より進捗状況 ③ 次年度の生徒実技 講習会について ④ 情報交換、所連絡 他	12校出席

Eブロック長 大阪府立桜宮高等学校 渡邊美和子
副ブロック長 大阪府立みどり清朋高等学校 梅木 沙羅

令和6年度 Eブロック活動報告(案)

●第1回 Eブロック会議

日時 : 令和6年6月7日(金) 15:00～17:00
場所 : 大阪府立桜宮高等学校
案件 : ・高校展出品申込 ・各係・役割分担確認 ・美術研修会について 他

●第2回 Eブロック会議

日時 : 令和6年7月12日(金) 15:00～17:00
場所 : 大阪府立桜宮高等学校
案件 : ・高校展出品校教員会議(出品料納入) ・高校展役割確認 他

●高校展Eブロック

日時 : 令和6年7月31日(水)～8月4日(日)
搬入 : 7月31日(水)AM 搬出: 8月4日(日)PM 14校参加
会場 : 八尾市立文化会館プリズムホール

●Eブロック美術部合同研修

日時 : 令和6年11月23日(土)
場所 : 大阪中之島美術館 TORI 展鑑賞会
参加校4校 生徒22名参加

●第3回 Eブロック会議

日時 : 令和6年12月6日(金) 15:00～17:00
場所 : 大阪府立桜宮高等学校
案件 : ・第3回 Eブロック展役割分担 他

●第3回 Eブロック展

日時 : 令和7年1月30日(木)～2月2日(日)
搬入 : 1月30日(木)AM 搬出: 2月2日(日)16:00～ 10校参加
会場 : 東大阪市役所本庁舎 22F 市民ギャラリー

●第4回 Eブロック会議

日時 : 令和7年2月2日(日)
場所 : 東大阪市役所本庁舎 22F 市民ギャラリー
案件 : ・第3回 Eブロック展振り返り・次年度のブロック長確認 他

2025/02/14 役員会

2024/03/07 年度末総会

大阪府高等学校美術工芸教育研究会

年 度 末 総 会 資 料

Fブロック長 岡垣有香（松原高校）

令和6年度 Fブロック活動報告

月日	曜日	会 議	内 容
5/17	金	第1回 ブロック会議	高校展 要綱確認・役割分担決め 新年度活動計画 昨年度反省点確認 等
6/7	金	第2回 ブロック会議	高校展 役割分担決め 前年度ブロック会計決算報告 高校展(Fブロック) 申し込み 要綱検討・確認
7/12	金	高校展出品校 説明会	教員会議 会場配置割り付けチェック
7/27	金	高校展搬入	審査
7/28 8/2	土 金	高校展	大阪芸術大学附属大阪美術専門学校
8/2	金	高校展搬出	表彰式
8/31	土	実技交流会	ペンタブレット、イラスト描画ソフト講習・交流会 大阪情報コンピュータ専門学校
9/13	金	第3回 ブロック会議	ブロック展要項検討 等 ブロック展役割分担 実技交流会原案提示
11/15	金		ブロック展申し込み締め切り
12/13	金	第4回 ブロック会議	出品料納入・目録原稿締め切り 壁面割付確認・係り打ち合わせ等
1/10	金	第5回 ブロック会議	展示注意・搬入出確認・出品目録校正 案内リーフレット配布発送 等
1/28	火	ブロック展搬入	ブロック展 搬入 審査・打ち合わせ 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校
1/29 2/2	水 日	Fブロック展	大阪芸術大学附属大阪美術専門学校
2/2	日	第6回 ブロック会議	表彰及び会場撤去・搬出 反省会・次年度実行委員決定 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校

Gブロック 令和6年度 活動報告

日程・場所	活動内容
令和6年 4月19日(金) 堺市立堺高校にて	● 第1回ブロック会議 ・今年度の活動計画 ・年度の主な展覧会日程 ・研究会所属部確認 ・その他、情報交換等
令和6年 6月7日(金) 堺市立堺高校にて	● 第2回ブロック会議 ・第75回高校展について(申し込み、役割分担) ・Gブロック展について ・生徒交流会について ・その他、情報交換等
令和6年 10月4日(金) 堺市立堺高校にて	● 第3回ブロック会議 ・Gブロック展について ・生徒交流会について ・その他、情報交換等
令和6年 7月5日(金) 7月22日(月) 堺市立堺高校にて	○第75回高校展 出品校 教員会議 ・出品校は必ず出席・教員打ち合わせ、役割分担等 ○第75回高校展 出品校 生徒説明会 ・出品校は必ず出席(出品料納入・変更手続き)
7月31日(水)～4日(日) 堺市文化館にて	○第74回高校展
令和6年 11月2日(土)	◆ 第Gブロック生徒交流会 浜寺公園スケッチ会 雨天により中止
令和6年 12月6日(金) 堺市立堺高校にて	●第4回ブロック会議 ・Gブロック展について (オンライン開催決定、出品要項確認、役割分担等) ・その他、情報交換等
令和7年 1月31日(水) 堺市立堺高校にて	● 第5回ブロック会議 ・Gブロック展について (出品料納入、アップロード方法確認) ・年度末総括 ・新年度役割分担
令和7年 2月15日(土)～ 2月19日(水)	◆第38回 Gブロック高等学校美術・工芸展 オンライン開催

令和6年度 Hブロック活動報告

月 日	活 動 内 容
令和6年 6月7日(金)	第1回 ブロック会議 ・ 高校展 について(申し込み・諸連絡) ・ Hブロック展の開催について(期間・会場等) ・ その他、各校情報交換等 会場：和泉総合高校
7月26日(金)	高校展 出品校教員会議 会場：信太高校
8月2日(金) 高校展 搬入時	第2回 ブロック会議 ・ Hブロック展の開催について ・ その他、各校情報交換等 会場：熊取交流センター・煉瓦館
8月3日(土) ～8月8日(木)	■Hブロック高校展 会場：熊取交流センター・煉瓦館 搬入：8/2 搬出8/9 15校参加
令和7年 2月1日(土) ～2月7日(金)	■第42回Hブロック展 会場：熊取交流センター・煉瓦館 搬入：1/31 搬出2/8 ・ 美術部の作品だけでなく授業作品も併せて展示 ・ 12校参加 ・ 展覧会の最終日に合評会を実施
2月8(土) ブロック展搬出後	第3回 ブロック会議 ・ ブロック展反省会 ・ 年度末総括 ・ 次年度役割分担決定

令和7年2月14日(金)
Kブロック長
酒見 直樹(港南造形高校)

令和6年度 Kブロック 活動報告(案)

日	回・名称等	内容・場所等
4/1(月)	第1回 ブロック会議	美工研 部所属確認
4/5(金)	第2回 ブロック会議	美工研 部所属確認
4/17(水)	第3回 ブロック会議	年度当初の予定 高校展出品要綱(案)
5/8(水)	第4回 ブロック会議	各部、事務局からの連絡報告等
5/29(水)	第5回 ブロック会議	各部、事務局からの連絡報告等
6/12(水)	第6回 ブロック会議	高校展出品申込について 各部、事務局からの連絡報告等
6/15(土)	「全国美術系大学・短大合同説明会」	大阪府下の高校生・教員参加
6/26(水)	第7回 ブロック会議	高校展出品目録提出 高校展教員会議(役割分担等)各部、事務局からの連絡報告等
7/10(水)	第8回 ブロック会議	高校展について 各部、事務局からの連絡報告等
7/30(火)～ 8/4(日)	第75回 高校展(Kブロック)」	港南造形高校 体育館 会場設営 搬入:7/24(水)～7/26(金) 搬出:8/5(月)
8/5(月)	第9回 ブロック会議	高校展作品搬出後反省会
8/28(水)	第10回 ブロック会議	各部、事務局からの連絡報告等
9/4(水)	第11回 ブロック会議	各部、事務局からの連絡報告等
9/18(水)	「創立40周年記念講演」	「つくり続けること」塩田千春氏 全校生徒参加
9/20(金)～ 9/21(土)	文化祭	
10/2(水)	第12回 ブロック会議	芸文祭について
10/9(水)	第13回 ブロック会議	各部、事務局からの連絡報告等
10/23(水)	第14回 ブロック会議	各部、事務局からの連絡報告等
10/27(日) ～11/2(土)	「創立40周年記念展」	卒業生・旧現教職員による展覧会
11/6(水)	第15回 ブロック会議	各部、事務局からの連絡報告等
11/10(日)	「すみのえアートビート」	クリエイティブセンター大阪、パブリックアート同好会の生徒が参加
11/20(水)	第16回 ブロック会議	各部、事務局からの連絡報告等
1/8(水)	第17回 ブロック会議	芸文祭について・各部、事務局からの連絡報告等
1/22(水)	第18回 ブロック会議	各部、事務局からの連絡報告等
1/22(水)～ 1/26(日)	「第45回 芸文祭」	
2/8(土)～ 2/10(月)	「港南展(卒業制作展)」	大阪デザイン振興プラザ 約1,500名来場

※造形科の教科会議が隔週の水曜日に設定されており、その中で美工研に関する会議(ブロック会議)を実施している。

2024年度 分掌人数配置（参考資料）

ブロック	会計部	研究部	高校展部	芸文祭部	研修部	合計
A	1	1	2	3	2	9
B	2	3	7	6	5	23
C	1	2	5	5	5	18
D	1	2	6	5	3	17
E	1	2	3	3	2	11
F	1	1	4	4	1	11
G	1	2	4	4	2	13
H	2	2	3	3	2	12
K	2	3	6	6	3	20
合計	12	18	40	39	25	134

2025年度 分掌人数配置（案）

ブロック	会計部	研究部	高校展部	芸文祭部	研修部	合計
A	2	1 ～ 2	2 ～ 3	2 ～ 3	1 ～ 2	8 ～ 12
B	1 ～ 2	2 ～ 3	6 ～ 8	6 ～ 8	2 ～ 3	17 ～ 24
C	1	2 ～ 3	5 ～ 6	5 ～ 6	2 ～ 3	15 ～ 19
D	1	2 ～ 3	5 ～ 6	5 ～ 6	2 ～ 3	15 ～ 19
E	1	1 ～ 2	3 ～ 5	3 ～ 5	1 ～ 2	9 ～ 15
F	1	1 ～ 2	3 ～ 5	3 ～ 5	1 ～ 2	9 ～ 15
G	1	1 ～ 2	3 ～ 5	3 ～ 5	1 ～ 2	9 ～ 15
H	1	1 ～ 2	3 ～ 5	3 ～ 5	1 ～ 2	9 ～ 15
K	2	2 ～ 3	6 ～ 8	6 ～ 8	2 ～ 3	16 ～ 22
合計	11 ～ 12	13 ～ 22	36 ～ 51	36 ～ 51	13 ～ 22	107 ～ 156

大阪府高等学校美術・工芸教育研究会
令和7年度 ブロック長の先生方

〈令和7度 研究会名簿原稿集約について【依頼】〉

平素より本会の運営にご尽力いただきましてありがとうございます。

さて、標記の件につきまして入力シートのフォーマットを令和7年度のブロック長の先生方にメール送信させていただきます。

年度替わりのお忙しい時期とは存じますが、ブロック長の先生方には次の点をお願いいたします。

《お願いする作業内容》

- ・Excelのシートは「データー一覧」「公立高等学校」「支援校 特別支援校」の3種類があります。
- ・各校から送られてきたExcelデータ（およびFAX）を「データー一覧」シートに貼り付けてください。
- ・それを元に「公立高等学校」または「支援校 特別支援校」シートに貼り付けてください。
これは冊子で発行する研究会名簿の原稿になります。（値複写でお願いします。）
データ内に入力例と各シートの説明がありますのでご参照ください。

《ご提出について》

2段階でのご提出をお願いします。

- ① 4月9日（水）までに集まったデータを「データー一覧」にまとめて
R6事務局長 山口 真弓（柴島） T-YamaguchiMay@medu.pref-osaka.ed.jp にメール添付でお送りください。他のシートは未完成で結構です。
これは、研究会からの連絡メールをいち早く使用できるようにする目的です。
- ② 4月16日（水）までに「公立高等学校」「支援校 特別支援校」のシートを完成させて
R6事務局長 山口 真弓（柴島） T-YamaguchiMay@medu.pref-osaka.ed.jp にメール添付でお送りください。
提出のない学校へは電話連絡等でご確認をお願いいたします。

《補足》

- ・新規採用や転勤等によりブロック不明として 渡邊事務局長に届いたデータは随時当該ブロック長の先生へお送りしますので、「データー一覧」に統合してください。
- ・各校からブロック長への提出期限は4月4日（金）ですが、事前にブロック LINE 等で提

出を促していただき、「データ一覧」シートを完成していただければありがたいです。
特に教員の入れ替わりがあった学校へは、研究会部所属の件も含めて早めにご連絡いただければ幸いです。

・「公立高等学校」にある学校で、未提出の学校へは直接お問い合わせください。

☆「支援校 特別支援校」の未提出校へは連絡していただかなくて結構です。

・抜けている学校や校名・住所等に間違いがありましたらご修正ください。

(昨年度は電話番号・FAX 番号に複数の間違いがあったようです。)

☆業務量が多くてお困りになるようであれば、山口 真弓(柴島)事務局長にお申し出ください。

ご説明は以上になります。

ブロック長の先生方には無理をお願いしまして申し訳ありません。

ご質問等ありましたらご連絡ください。

よろしくお願いいたします。

大阪府高等学校美術・工芸教育研究会

副理事長 山崎 功典

大阪府高等学校美術・工芸教育研究会
美術・工芸ご担当者様
美術部主顧問の先生

令和6年3月7日
美工研事務局

令和7年度
研究会名簿 基礎データの作成について（依頼）

平素より本研究会の活動にご理解とご協力を賜りましてありがとうございます。
さて、本会では円滑な運営および研究会活動を目的として、研究会名簿を作成しております。
つきましては、会員・準会員の皆様に名簿作成のための基礎データをご提出いただきますようお願い申し上げます。（非常勤講師・再任用教諭で週3～4日勤務の方、美術・工芸科以外の先生で美術部の主顧問をされている方は「準会員」とさせていただきます。）
下記の通り、学校名・職種・お名前・ご専門分野・研究会所属をお知らせください。
提出方法は下記の2つですが、可能な限り「①」でお願いいたします。

- ① Excelにご入力いただき、所属のブロック長の先生へメール送信してください。
美術・工芸科の先生が複数いらっしゃる場合は全員分をご入力ください。
非常勤講師の先生もご入力ください。
美術・工芸科以外の先生で主顧問をされている方（教科外顧問）は「ご専門分野」の欄に教科名をご入力いただき、「研究会所属」は空欄でご提出ください。
- ② ファックス用紙を使用する。
なお、メールアドレスは名簿には記載しません。研究会からの一斉送信メールを送らせていただく目的です。例年であれば、高校展関係の資料や年度末総会案内、その他必要な連絡や案内を送らせていただいております。重要な連絡をメールで送信させていただきますので必ずご入力ください。

① メール送信

入力例（Excelです。「A」から「F」まで横に続いているとご理解ください。）

(A. 学校名)		(B. 職種)	(C. お名前)	(D. 専門分野)
	A	B	C	D
1	港南造形	教諭	港 太郎	英語
2	港南造形	再任用教諭 5 日	大阪 花子	彫刻
(E. 研究会所属)		(F. メールアドレス)		
	E	F		
1		T-○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○@medu.pref-osaka.ed.jp		
2	○○○部			

〈補足説明〉

□職種

- ・教諭・期限付講師・再任用教諭（ ）日・非常勤講師・教科外顧問から選択してください。該当するものが無い場合は適切なものをご記入ください。
- ・名簿掲載の際は 教諭＝○、期限付講師＝期、再任用教諭（ ）日＝再（ ）
非常勤講師＝△、教科外顧問＝顧 と記載させていただきます。
- ・再任用教諭の（ ）は1週間の勤務日数をご記入ください。

□専門分野

- ・ご自身の美術・工芸の中での専門分野をご記入ください。
- ・美術・工芸科以外の先生はご自身の教科名をご記入ください。

□研究会部所属

- ・会計部／研究部／高校展部／芸文祭部／研修部から選択してください。
該当するものが無い場合は適切なものをご記入ください。
- ・部長・副部長の先生は「○○部部長」のようにご記載ください。
- ・部所属が無い方や教科外顧問の先生は空欄のままでお願いします。
- ・ご不明な場合は各校所属のブロック長へお問い合わせください。

□メールアドレス

- ・研究会一斉送信メールを受信したいアドレスをご記載ください。
- ・入力例はあくまでも例です。相応しいものをご入力ください。

〈提出先〉

各校所属の令和7年度ブロック長の先生へメールで添付して送信してください。

敬称略（学校名）

※令和6年度の所属校を表記しています。転勤等の可能性もありますので、メールアドレスをご確認のうえ送信してください。

A ブロック	〇〇	〇〇 (〇〇〇)	T-〇〇〇〇〇〇〇〇〇@ medu.pref-osaka.ed.jp
B ブロック	〇〇	〇〇 (〇〇〇)	T-〇〇〇〇〇〇〇〇〇@ medu.pref-osaka.ed.jp
C ブロック	〇〇	〇〇 (〇〇〇)	T-〇〇〇〇〇〇〇〇〇@ medu.pref-osaka.ed.jp
D ブロック	〇〇	〇〇 (〇〇〇)	T-〇〇〇〇〇〇〇〇〇@ medu.pref-osaka.ed.jp
E ブロック	〇〇	〇〇 (〇〇〇)	T-〇〇〇〇〇〇〇〇〇@ medu.pref-osaka.ed.jp
F ブロック	〇〇	〇〇 (〇〇〇)	T-〇〇〇〇〇〇〇〇〇@ medu.pref-osaka.ed.jp
G ブロック	〇〇	〇〇 (〇〇〇)	T-〇〇〇〇〇〇〇〇〇@ medu.pref-osaka.ed.jp
H ブロック	〇〇	〇〇 (〇〇〇)	T-〇〇〇〇〇〇〇〇〇@ medu.pref-osaka.ed.jp
K ブロック	〇〇	〇〇 (〇〇〇)	T-〇〇〇〇〇〇〇〇〇@ medu.pref-osaka.ed.jp
ブロック不明	渡邊	美和子（桜宮）	T-WatanabeM@medu.pref.osaka.jp

〈提出期限〉

令和7年4月4日（金） 17：00 期限内の提出にご協力ください。

本件に関する問い合わせ先

大阪府高等学校美術・工芸教育研究会 事務局長

大阪府立柴島高等学校 芸術科（美術） 山口 真弓

TEL（06）6323-8351 FAX（06）6323-8237

②FAX 送信票

(メールを使える環境でない方は、この FAX 送信票をご利用ください。)

_____立_____学校

大阪府高等学校美術・工芸教育研究会

_____ブロック長 _____様

《大阪府高等学校美術・工芸教育研究会 名簿原稿》

学校名	電話番号	FAX 番号

職種	お名前	専門分野	研究会部所属

メールアドレス

※ 1 校に複数名いらっしゃる場合は以下の欄をお使いいただいても結構です。

職種	お名前	専門分野	研究会部所属

メールアドレス

職種	お名前	専門分野	研究会部所属

メールアドレス

2025(令和7)年度 大阪府高等学校美術・工芸教育研究会事業計画(たたき台)

[illegible]

基本的に1週目は役員会等、2週目はブロック会、3週目はブロック研修等、4週目は部会・事務局会等(芸術科全体で統一してお願いをしています)

※日程未定のは記載していません。各部・ブロックからの案内が発送されてからご確認ください。 ※各ブロックの予定はおおよその日程を記載しています。詳細は各ブロックの活動計画をご覧ください。 ※日程変更等につきましては各要項等でご確認ください。

大阪府高等学校美術・工芸教育研究会
令和7年度 ブロック長の先生方

〈令和7度 研究会名簿原稿集約について【依頼】〉

平素より本会の運営にご尽力いただきましてありがとうございます。

さて、標記の件につきまして入力シートのフォーマットを令和7年度のブロック長の先生方にメール送信させていただきます。

年度替わりのお忙しい時期とは存じますが、ブロック長の先生方には次の点をお願いいたします。

《お願いする作業内容》

- ・Excelのシートは「データー一覧」「公立高等学校」「支援校 特別支援校」の3種類があります。
- ・各校から送られてきたExcelデータ（およびFAX）を「データー一覧」シートに貼り付けてください。
- ・それを元に「公立高等学校」または「支援校 特別支援校」シートに貼り付けてください。
これは冊子で発行する研究会名簿の原稿になります。（値複写でお願いします。）
データ内に入力例と各シートの説明がありますのでご参照ください。

《ご提出について》

2段階でのご提出をお願いします。

- ① 4月9日（水）までに集まったデータを「データー一覧」にまとめて
R6事務局長 山口 真弓（柴島） T-YamaguchiMay@medu.pref-osaka.ed.jp にメール添付でお送りください。他のシートは未完成で結構です。
これは、研究会からの連絡メールをいち早く使用できるようにする目的です。
- ② 4月16日（水）までに「公立高等学校」「支援校 特別支援校」のシートを完成させて
R6事務局長 山口 真弓（柴島） T-YamaguchiMay@medu.pref-osaka.ed.jp にメール添付でお送りください。
提出のない学校へは電話連絡等でご確認をお願いいたします。

《補足》

- ・新規採用や転勤等によりブロック不明として 渡邊事務局長に届いたデータは随時当該ブロック長の先生へお送りしますので、「データー一覧」に統合してください。
- ・各校からブロック長への提出期限は4月4日（金）ですが、事前にブロック LINE 等で提

出を促していただき、「データ一覧」シートを完成していただければありがたいです。
特に教員の入れ替わりがあった学校へは、研究会部所属の件も含めて早めにご連絡いただければ幸いです。

・「公立高等学校」にある学校で、未提出の学校へは直接お問い合わせください。

☆「支援校 特別支援校」の未提出校へは連絡していただかなくて結構です。

・抜けている学校や校名・住所等に間違いがありましたらご修正ください。

(昨年度は電話番号・FAX 番号に複数の間違いがあったようです。)

☆業務量が多くてお困りになるようであれば、山口 真弓(柴島)事務局長にお申し出ください。

ご説明は以上になります。

ブロック長の先生方には無理をお願いしまして申し訳ありません。

ご質問等ありましたらご連絡ください。

よろしくお願いいたします。

大阪府高等学校美術・工芸教育研究会

副理事長 山崎 功典

2024年度 分掌人数配置（参考資料）

ブロック	会計部	研究部	高校展部	芸文祭部	研修部	合計
A	1	1	2	3	2	9
B	2	3	7	6	5	23
C	1	2	5	5	5	18
D	1	2	6	5	3	17
E	1	2	3	3	2	11
F	1	1	4	4	1	11
G	1	2	4	4	2	13
H	2	2	3	3	2	12
K	2	3	6	6	3	20
合計	12	18	40	39	25	134

2025年度 分掌人数配置（案）

ブロック	会計部	研究部	高校展部	芸文祭部	研修部	合計
A	2	1 ～ 2	2 ～ 3	2 ～ 3	1 ～ 2	8 ～ 12
B	1 ～ 2	2 ～ 3	6 ～ 8	6 ～ 8	2 ～ 3	17 ～ 24
C	1	2 ～ 3	5 ～ 6	5 ～ 6	2 ～ 3	15 ～ 19
D	1	2 ～ 3	5 ～ 6	5 ～ 6	2 ～ 3	15 ～ 19
E	1	1 ～ 2	3 ～ 5	3 ～ 5	1 ～ 2	9 ～ 15
F	1	1 ～ 2	3 ～ 5	3 ～ 5	1 ～ 2	9 ～ 15
G	1	1 ～ 2	3 ～ 5	3 ～ 5	1 ～ 2	9 ～ 15
H	1	1 ～ 2	3 ～ 5	3 ～ 5	1 ～ 2	9 ～ 15
K	2	2 ～ 3	6 ～ 8	6 ～ 8	2 ～ 3	16 ～ 22
合計	11 ～ 12	13 ～ 22	36 ～ 51	36 ～ 51	13 ～ 22	107 ～ 156

2025(令和7)年度 大阪府高等学校美術・工芸教育研究会事業計画(たたき台)

[illegible]

基本的に1週目は役員会等、2週目はブロック会、3週目はブロック研修等、4週目は部会・事務局会等(芸術科全体で統一してお願いをしています)

※日程未定のは記載していません。各部・ブロックからの案内が発送されてからご確認ください。 ※各ブロックの予定はおおよその日程を記載しています。詳細は各ブロックの活動計画をご覧ください。 ※日程変更等につきましては各要項等でご確認ください。

全国高等学校美術・工芸教育研究会 R8 大阪大会に向けた検討事項について

2025 年 2 月

大阪府立港南造形高等学校 内藤 さや

現在までの検討された内容について大阪大会仮案を記載いたします。

- 1) 会 期
- 令和 8 年 10 月 22 日 (木) 23 日 (金)
- 2) 開催の方法
- 集合形
(記録や対応で zoom や YouTube も併用可能)
- 3) 会 場
- 大阪成蹊大学 駅前キャンパス (south 館)・南館 (美術棟)
(開会式は、こみちホール使用。懇親会は学生食堂 8 階。)
〒533-0007 大阪府大阪市東淀川区相川 3 丁目 10-62・(最寄り駅
- 4) 目 的
- 全国の高等学校美術・工芸教育の充実と振興を図る
- 5) テーマ
- (仮) 美術・工芸教育のイノベーションを考える ～過去→現在→未来～

これからの美術を考えるということ。これまでの方法を受け継ぐことも大切、これから新しい技術を取り入れていくことも必要。教育のサバイバル、美術・工芸教育も残していけない状況なのかも知れないですが、AI には出来ないことが美術・工芸の中にこそある。3つの分科会ではそのために何ができるのかを考察する。

(分科会)

第 1 分科会 開発的イノベーション (未来)

I C T教育など新しい技術をどのように取り入れていけば効果的か、また、問題点 (生成 A I・著作権の問題) などについて考える。新技術と美術教育がどのように共存していくか考えていく。

(指導助言：)

第 2 分科会 継承的イノベーション (過去)

昔からうけつがれる技術や、手仕事の良さを再認識しこれからの美術授業にどのように取り入れるか考える。

(指導助言：)

第 3 分科会 社会に役立つ美術・つながりから考える美術工芸、鑑賞のイノベーション (現在)

アート思考を生む、美術工芸の鑑賞は今後どのように社会のなかで必要とされていくのか？

(指導助言：)

全体会 イノベーションのジレンマ (現在)

美術・工芸教育イノベーションを考えるうえで、理想と現実のギャップ (仕事の効率化等) をどう埋めるのか、各分科会で話し合ったジレンマについて考察する。

6) 記念講演者 (大阪にゆかりのあるアーティスト 仮) 塩田 千春

7) 助言者 各分科会に1名、計3名。

参加費 6,000円程度 情報交換会も同額程度か？

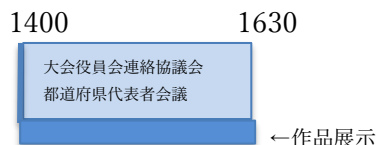
8) 運営組織 以下は前回大阪大会の組織

- ①大会委員長・・・(美術の管理職・校長)
- ②大会副委員長・・・(芸術の管理職から)
- ③大会実行委員長・・・大阪府高等学校美術・工芸教育研究会会長
- ④大会実行副委員長・・・(必要あれば)
- ④大会事務局長・・・大阪府高等学校美術・工芸教育研究会副会長
- ⑤大会事務局・・・事務局

この下に総務係(事務1総務1)、
会計係(事務1会計1)、
企画運営係(企画5研究5)など

10月21日(水)大会準備・会議

※ 作品展示・会場準備は900集合、受付は1430より



10月22日(木)大会1日目



10月23日(金)大会2日目



※片付け終了1500、大阪大会関係者終了は1630。

ご来賓等 仮)

- ・記念講演講師 塩田 千春
- ・開会について 文部科学省初等中等教育部 教科調査官 平田 朝一
- ・第一分科会
- ・第二分科会 大阪教育大学 渡邊 美香
- ・第三分科会 京都市総合教育センター 指導室長 東良 雅人
- ・全体会 (第一から第三分科会者全員)
- ・その他、前回大会の県代表、次回大会の県代表 など

役員会メンバーも各分科会に意見を出し合う。（仮）

大会行事内容を話し合う役割分担

- ・開会式関連と情報交換会
- ・第1分科会（開発・AI・知的財産）（未来）
- ・第2分科会（継承・手仕事）（過去）
- ・第3分科会（社会に役立つ・観賞）（現在）
- ・全体会
- ・本部総務・受付・司会・会計など
- ・作品展展示やブースについて

新堀 ・ 山崎
山口 ・ 丸山 ・ 高校展部
池田 ・ 研究部 ・ 研修部
物種 ・ 松田 ・ 芸文祭部
倉津 ・
会計部・ 事務局
高校展部 ・ 芸文祭部

準備物等を話し合う役割分担

- ・講師の依頼や会場との交渉、本部事務など
- ・大会冊子制作（発表者連絡など）

山崎会長・内藤
山口 ・ 事務局 ・ 研究部